

平成30年第1回

# 伊根町議会定例会会議録

平成30年3月13日（第2号）

伊 根 町 議 会

# 平成30年 第1回 (定例会)

## 伊根町議会 会議録 (第2号)

招集年月日	平成30年 3月13日 火曜日						
招集場所	伊根町コミュニティセンター ほっと館 ふれあいホール						
開閉の日時 及び宣告者	開会	平成30年 3月13日 9時30分			議長	泉 敏夫	
	閉会	平成30年 3月13日 13時51分			議長	泉 敏夫	
応(不応)招 議員及び 出席並びに 欠席議員	議席番号	氏名	出欠	議席番号	氏名	出欠	出席 9名 欠席 0名
	1	和田義清	○	6	大谷 功	○	
	2	藤原正人	○	7	佐戸仁志	○	
	3	濱野茂樹	○	8	上辻 亨	○	
	4	松山義宗	○	9	泉 敏夫	○	
	5	山根朝子	○	10			
地方自治法 第121条 の規定によ り説明のた め出席した 者の職氏名	職	氏名	出欠	職	氏名	出欠	出席10名 欠席 0名
	町長	吉本秀樹	○	住民生活課長	石野 靖	○	
	副町長	小西俊朗	○	保健福祉課長	須川清広	○	
	教育長	石野 渡	○	地域整備課長	白須 剛	○	
	総務課長	鍵 良平	○	教育次長	梅崎 良	○	
	企画観光課長	上山富夫	○	会計管理者	増井和彦	○	
職務のため 出席した者 の職氏名	議 会 事務局長	倉 正人	○	主 事	池野早紀子	○	
会 議 録 署名議員	3番	濱野 茂樹		5番	山根 朝子		
議 事 日 程	別紙のとおり						
会 議 に 付 した 事 件	別紙のとおり						
会 議 の 経 過	別紙のとおり						

# 平成30年 第1回 伊根町議会定例会

## 議事日程 (第2号)

平成30年3月13日(火)

午前 9時30分 開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 議案第11号 平成30年度伊根町一般会計予算
- 日程第 3 議案第12号 平成30年度伊根町国民健康保険特別会計予算
- 日程第 4 議案第13号 平成30年度伊根町簡易水道特別会計予算
- 日程第 5 議案第14号 平成30年度伊根町下水道事業特別会計予算
- 日程第 6 議案第15号 平成30年度伊根町財産区特別会計予算
- 日程第 7 議案第16号 平成30年度伊根町介護保険特別会計予算
- 日程第 8 議案第17号 平成30年度伊根町訪問看護事業特別会計予算
- 日程第 9 議案第18号 平成30年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算

## 会議に付した事件

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 議案第 1 1 号 平成 3 0 年度伊根町一般会計予算
- 日程第 3 議案第 1 2 号 平成 3 0 年度伊根町国民健康保険特別会計予算
- 日程第 4 議案第 1 3 号 平成 3 0 年度伊根町簡易水道特別会計予算
- 日程第 5 議案第 1 4 号 平成 3 0 年度伊根町下水道事業特別会計予算
- 日程第 6 議案第 1 5 号 平成 3 0 年度伊根町財産区特別会計予算
- 日程第 7 議案第 1 6 号 平成 3 0 年度伊根町介護保険特別会計予算
- 日程第 8 議案第 1 7 号 平成 3 0 年度伊根町訪問看護事業特別会計予算
- 日程第 9 議案第 1 8 号 平成 3 0 年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算

## 会 議 の 経 過

平成30年3月13日(火)  
午 前 9時30分 開議

### ◎ 開会・開議の宣言

- 議長(泉 敏夫君) まずは、おはようございます。本日はご苦労さまです。  
ただいまの出席議員は全員です。  
これより直ちに本日の会議を開きます。  
本日の議事日程は、お手元に配付のとおりでございます。

### ◎ 日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長(泉 敏夫君) 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。  
本日の会議録署名議員は、会議規則第123条の規定によって、議長において  
3番、濱野茂樹君  
5番、山根朝子君を指名します。  
以上の両議員に差し支えのある場合は、次の号数の議席の議員にお願いします。

### ◎ 日程第2 議案第11号

- 議長(泉 敏夫君) 日程第2、議案第11号 平成30年度伊根町一般会計予算を議題とし、  
これから質疑を行います。  
なお、質疑は、慣例により、歳入全般を一区切り、歳出の1款議会費から4款衛生費までを一区  
切り、5款労働費から8款土木費までを一区切り、9款消防費から14款予備費までを一区切り、  
合計4区切りとして行いますので、よろしくをお願いします。  
また、十分審議が尽くせるよう、平成30年度全会計予算議案の質疑の回数は、事情が許す限り  
制限しないということとしたいと思います。これに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

- 議長(泉 敏夫君) 質疑なしと認めます。平成30年度全会計予算議案の質疑の回数は、事情  
が許す限り制限しないことに決定しました。なお、十分な審議が尽くされることを期待します。  
初めに、一般会計予算の歳入全般を対象としての質疑を行います。これから質疑を行います。何  
かご質問ございませんでしょうか。1番、和田義清君。

- 1番(和田義清君) おはようございます。それでは、私のほうから最初に質問させていただきます。

予算書の41ページ、総務管理費の……

(「歳入……」の声あり)

- 1番(和田義清君) 歳入、歳入全般……ごめんなさい、失礼しました。

- 議長(泉 敏夫君) 4番、松山義宗君。

- 4番(松山義宗君) 18、19ページなんですけれども、教育使用料、これが若干増になって  
いるようなんですが、どういった根拠から増にされたのかというのを伺います。

- 議長(泉 敏夫君) 梅崎次長。

- 教育次長(梅崎 良君) 教育使用料の増の分なんですけれども、筒川文化センターの使用料分を前  
年度よりも約28万ほど増額というふうに見込んでおります。これにつきましては28年度の実績  
に、プラス実績の8割程度を歳入として見込んで予算を計上いたしております。

- 議長(泉 敏夫君) 6番、大谷功君。

- 6番(大谷 功君) 28、29ページの2目利子及び配当金ですが、説明では基金の運用増と  
いうふうに説明を聞かせていただいたんですが、運用増になるような何かよい運用方法が考えられ  
たんでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 増井会計管理者。

○会計管理者（増井和彦君） 大谷議員の質問にお答えをさせていただきます。

特に例年格好の運用ではございますけれども、平成29年度と同じような形で債権の運用、それから定期預金の運用という形で運用させていただく予定にしております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 5番、山根朝子君。

○5番（山根朝子君） 19ページの商工使用料ですけれども、大西駐車場の使用料が去年は200万弱だったと思うんですが、今年は435万円と倍ぐらいになっているんです。ここは結構、何か路上駐車が多いかというふうにも聞いているんですけれども、これは路上駐車を取り締まって、その駐車場を活用してもらおうということで、これだけ倍近い予算になっているんですか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 山根議員ご質問の大西駐車場が大幅に増額ということですが、昨年度はまだ実績がございませんでしたので、あくまでも想定した予算とさせていただいております。

29年度、今まで実績を積んできて、大西については一定相当量の台数の駐車がございましたので、29年度実績を見込んでの予算計上とさせていただいております。

○議長（泉 敏夫君） 7番、佐戸仁志君。

○7番（佐戸仁志君） すみません。同じく19ページの駐車場利用料なんですが、大西駐車場使用料、七面山駐車場使用料合わせて760万ぐらいの収入を見込んでおられますが、運営費のほうで830万ほどかかるというふうに書いてあります。当然赤字ということに予算上なっているわけですが、当初の見込みから、もうこのように赤字を覚悟されてつくったのか、その辺をお聞きしたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 駐車場整備に係ります駐車場の使用料の収入と歳出、必要額とのバランスのご質問でございますが、当初から迷惑駐車等を解除するというのが大きな視点で駐車場整備をさせてきていただきました。整備の観点としては、歳入歳出とんとなればいいなということで当初進めてまいりました。

今回の当初予算につきましては、歳出のほうが多いというご指摘でございますが、今後、現段階ではマックスの歳出の経費を組んでおりますが、30年度におきましては、管理運営上もう少しコストカットができる部分があるかというふうに考えておりますので、現在その部分を調整しております。なるべく運営費を安く上げて収支バランスがとれるように努力をしていきたいというふうに考えております。

○議長（泉 敏夫君） 5番、山根朝子君。

○5番（山根朝子君） 25ページの環境衛生費補助金の再生可能エネルギー導入事業補助金です。これは2件分子算計上されているようなんですけれども、29年度の実績もこれぐらいあったのかということと、それから、これ、補助が出ますけれども、結構最初にすごくお金が要るので、どんな様子かなとちょっと心配している、ちゃんといけるのかなというふうに心配している方もおられると思うんです。ですから、取りつけられた方のお宅をちょっと拝見させてもらうとか、そういうふうな取り組みというの、これからしてもらえないかなと思うんですけれども、そこら辺はどうでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） 歳出の部分での質疑になりますので、実際としましては歳出も伴うものでありまして、歳出のほうに対する歳入の補助になるので、住民さんからの申請に対応できるような予算の計上をさせていただいております。

それで、議員がこの予算以外の部分での設置後の状況がどうかというところですが、蓄電のほうも含めての補助の対象になってきますので、そういったあたりの指導といいますか、そういった助言であったり、指導であったりをして補助を活用していただこうと考えております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ございませんか。質疑がないようであります。これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 質疑ないと認めます。これで質疑を終わります。

続きまして、歳出1款議会費から4款衛生費を対象として質疑を行います。3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 先日の全員協議会を欠席した関係で、質問の内容が少し説明があった分に関してになるかもわかりませんが、ご了承いただきたいというふうに思います。

47ページ、地域公共交通確保維持費でございます。

業務委託費ということでカートの実証実験、昨年実施しました。それについて今年度も京都府と共同して行うんだという説明がなされたというふうに思っております。これについて、もう少し具体的な時期とか、そういった実証実験の内容を詳しく説明いただきたいとします。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 交通確保維持費の中の業務委託費125万円の件でございますが、業務委託費として今回125万円を計上しております。

今回30年度につきましては、京都府と伊根町とで事業費折半として京都府125万、伊根町125万、合わせて250万で実証実験を行うというものでございます。これにつきまして京都府のほうから提案をいただきまして、昨年度は実証実験を舟屋の里公園から伊根浦公園、舟屋日和という形で、その3点を回るルートで検証をやってもらいましたが、今年度は亀山のほうまで実際に伸ばして、どの程度の実際の乗車があるのかというような部分を再度ルートも変更しながら確認していきたいということでございます。

さらには、昨年度は一応どれぐらいで料金がいいのかというようなアンケートもとりましたが、十分な設問もできておりませんので、さらに事細かに実際にやる場合の料金設定が今後の参考に資するための十分な聞き取りをしながら、再度の詰めの実証実験を行いたいというふうに考えておるところでございます。

それから、事業期間につきましては、現在7月から8月を実験の期間として今検討を進めておりますが、これから予算可決後、速やかに京都府とも調整を進めながら実証実験の実施に向けて協議を進めたいというふうに考えております。

さらに伊根町からの要望といたしましては、可能性はまだ微妙なところかもしれませんが、昨年は4人乗りのゴルフカートでやっておりましたが、4人乗りではなかなか効率が悪いということもございまして、聞きますところによると、7人乗りのゴルフカートもあるというふうに伺っておりますので、できましたら、ぜひとも7人乗りのゴルフカートによる実証実験を行いたいということで強く要望してまいりたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） この事業ですが、昨年も運転手の確保に非常に苦労されたというようなことを聞いております。今年度実施するに当たって、スクールバスなんかでは運転手不足ということでも乗り合いバスに変更になったりといったことを目の当たりにしたりとか聞いております。

運転手の確保はできているのかということと、あと、あくまでヤマハのカートの7人乗りを今京都府に対して要望されているという認識でいいのか、その辺の確認をお願いします。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 濱野議員のほうから運転手確保は困難ではないかというところですが、確かにおっしゃるとおりでございます。まだ実際に運転手確保に向けた取り組みはできていないところが実際でございます。この予算ご可決いただきましたら、直ちに運転手確保については、去年は遅目のスタートということでしたのでなかなか確保が困難でしたが、なるべく早い段階から動いて、スムーズな運行ができるようにというふうに考えております。

それからもう一点、具体のゴルフカートの名称ですが、今年度もヤマハのゴルフカートで今検討を進めておるところでございます。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 同じく47ページの活き生きまちづくり応援補助金なんですが、今年度で3年目を迎えるということで終了されるのか、また次年度もこの事業をされるのか、また今の現在の利用状況ですか、教えていただきたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 各自治会に50万円を限度として交付する活き生きまちづくり応援補助金でございますが、30年度が一定最終年度というふうに伊根町のうちでは現段階では考えております。

それから、事業未実施自治会分、今回全額の126万円というふうに計上しております。まだまだ活用されていないところが多いございますが、前期の活き生きまちづくり応援事業の場合は、最終年度にたくさんご応募をいただいたということがございますので、平成30年度最終年度に多くの自治会から来るかもしれないということで全額を計上させていただいておるところでございます。

ただ、今回一定備品等については対象外としておりますことや、地元負担も一部いただくというスキームにしておりますので、前回のようにはほぼ全ての自治会から来るかどうかは、少し微妙なところかなというふうには考えておるところでございます。

すみません。今126万円と申し上げましたが、1,260万円の間違いでございます。申し訳ございません。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 先ほどは失礼しました。予算書41ページの総務管理費の文書広報費の情報発信事業なんですけれども、13目の業務委託というふうに10万円予算計上されています。

こちらの委託先と業務内容、それと19目の負担金で職員研修で4万円が上がっておりますけれども、この職員研修がどのような形での研修内容かというのをお示してください。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 情報発信事業のまずは13節業務委託費の10万円、こちらでございますが、いくくるウェブというソフトなんですが、伊根町役場の中で情報発信する上でホームページを伊根町の各所管課から今スムーズにすぐにアップができるようにしております。そうするためのソフトでございますが、そのカスタマイズの費用として10万円を計上しております。

それから、職員研修でございますが、地域おこし協力隊、全国で組織されております会議がございますので、そちらのほうで地域おこし協力隊が研修を受けるための経費を情報発信事業の部分で計上させていただいております。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 47ページの定住促進事業ですが、今年度平成30年度は山間部に1棟整備するということで、本庄地区というふうに聞いておるんですが、もう入居される方とかということですか、決まっているのか、今現在募集をされておるのか、ちょっとお聞きしたいです。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 47ページ、定住促進事業の部分で、今年度は伊根地区の海版、いわゆる海版のお試し住宅の維持管理を行う費用と山版のお試し住宅を整備する経費を盛り込ませていただいております。本庄・筒川地区、山版のお試し住宅については30年度の整備となりますので、目途といたしましては、現段階では31年度からの募集という予定を組んでおります。

○議長（泉 敏夫君） 2番、藤原正人君。

○2番（藤原正人君） 79ページの高齢者住宅除雪対策事業のほうなんですけれども、今年利用された方が10件とお聞きしておるんですけれども、聞くところによりますと、中にはこんな事業があるの知らないという方もおられるのと、それと、除雪を事業者頼むと結構高額な負担が要すると思うんですけれども、特に今年のように大雪になった場合は、

もう少し何らかほかの方法で住民さんに、特に高齢者の方に周知させるというか、そういうことが必要だと思うんですけれども、それと、補助率をもう少し上げてもいいんじゃないかなと思うんですけれども、どうでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。



○保健福祉課長（須川清広君） 藤原議員さんの質問です。

除雪の補助、今年10件分ということで、今年度につきまして例年になく大雪ということで現在4件ほど利用をいただいております。

除雪ですけれども、確かに業者に頼んで、内容にもよりますけれども、高額になるということがあります。原則3分の2の補助ということで2万円を上限にしてはおりますが、金額もばらつきが業者や内容によって出てきます。今後、今すぐどうこうということもありませんけれども、状況を見ながら検討ができるものか、ちょっと検討していきたいと思っております。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 49ページの滞在型体験観光まちづくり事業ですが、結構9,600万という高額なお金を使って舟屋1棟、母屋1棟も改修されて、宿泊施設を整備するというふうにお聞きしましたが、これは指定管理をされるのでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 滞在型体験観光まちづくり事業で、今回平成30年度で舟屋1棟、母屋1棟を整備して宿泊施設にリニューアルするというものですが、その運営についてということになるかというふうに思います。

当初は伊根町のほうで有限責任事業組合、これ、LLPというふうに言われておりますが、それらを模索しておりましたが、今回この事業を実施するに当たりまして、補助メニューといたしまして農泊事業が最も有効であろうというふうに判断をさせていただきました。これにつきましては、特にこの補助メニューにつきましては国も京都府も力を入れておまして、国のほうも昨年29年度は農泊に関する視察等もたくさん見えられております。こうしたこともございまして、今回農泊事業による2分の1の補助を取りに行く予定で予算計上させていただいております。

この農泊事業でいくことになると、事業主体であります伊根町が直接管理運営をするのか、または指定管理者制度を用いた運営にするのかという二者択一の状況となりますことから、現段階では指定管理者制度による運営について検討を進めさせていただいております。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 先ほどの藤原議員さんの質問で、広報の関係のちょっと答弁が漏れておりましたので、答弁させていただきます。

例年広報のお知らせ版のほうで12月にさせてもらっています。ちょっと今年度それが落ちておったので、ちょっと慌てて防災無線で2回ぐらい雪が降ったときにさせてもらいまして、問い合わせは結構あったんですけども、実際の申請はまだそこまでいってないような状況でした。来年も同じように12月にお知らせ版で一回知らせまして、また補助対象になる50センチ以上の積雪があったときに、また防災無線のほうで呼びかけていきたいというふうに考えております。

○議長（泉 敏夫君） 6番、大谷功君。

○6番（大谷 功君） 70、71ページの3款民生費、社会福祉推進事業の福祉有償運送補助金ですが、説明では利用者減となるという見込みのようなんですけれども、ここは今後増えていくだろうというふうに予想はしておったんですけども、何か利用が減るような課題とか、問題とかいうのが出てきているのでしょうか。把握している点があれば聞かせてください。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 福祉有償運送の減の要因としましては、私のほうで把握しておる範囲では介護とか、医師の診断書がないと福祉有償運送は受けられないということで、介護認定を受けた利用者が減ってきておるというふうに現場のほうからは聞いております。もう減少傾向が結構ずっと続くようなことも聞いていますので、現場のほうからは車両の維持費等も結構負担になってきておるというようなこともちょっと聞いております。

○議長（泉 敏夫君） 7番、佐戸仁志君。

○7番（佐戸仁志君） 防災無線についてお聞きしたいと思います。

先日、鳥屋地区で関西電力の線が燃えるというような火災事例が深夜に起きました。私も……

○議長（泉 敏夫君） すみません、何ページですか。ページをお願いします。

○7番（佐戸仁志君） ページでいうと43ページですか。

○議長（泉 敏夫君） 43、はい、どうぞ。

○7番（佐戸仁志君） 我が家の防災無線はシャーという音が鳴っただけで何もしゃべらず、その後、物すごく小さい音のサイレン吹鳴が聞こえてまいりまして、寝ておった妻と養老の火事ちゃうかというような話をした次第でございます。

防災無線といいますと、毎日19時15分ごろに伊根町のお知らせが大きな声で聞こえるわけですが、防災無線という名目上、火災または災害のときに働かないというのが最近度々ございます。この辺についてどう思われているのか。

聞いたところによりますと、古い機械が鳴らないとか、新しい機械でしたらちゃんとしゃべるとかいうのをお聞きいたしたんですが、それでは防災無線の意味がないような気がするんですが、その辺についてお聞きしたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいまご質問をいただきました防災行政無線の件ですが、火災のときのということでご質問がありましたようでしたので、私のほうからお答えをさせていただきたいと存じます。

ただいまの佐戸議員からご質問がありましたように、災害時等にお知らせをする機能も兼ね備えております。平成29年度では何度か台風災害による避難勧告等にも利用させていただいております。そちらのほうでは問題なく動いておりましたと考えております。また、火災時ですが、以前にサイレンの関係で改造いたしますという説明をこちらで一度させていただいた折に、一度説明させていただいておりますことで重複する部分もございしますが、もう一度その説明をさせていただきますと、現在、出火報につきましては宮津与謝消防組合の消防本部から発令しております。

伊根町のサイレンシステムを須津にあります消防本部の指令室から信号を発して、伊根町のサイレンを鳴らす仕組みです。従前は無線制御で消防組合から伊根町のサイレンを鳴らしてございました。それが消防無線のデジタル化に伴いまして、アナログ波が免許になりませんようになりましたのでアナログ波を中止しております。その関係で伊根町の防災行政無線はデジタル波ではございませんので、アナログ波を使って伊根町側で消防組合の発令コンピューターシステムの中に伊根町の防災無線を鳴らす改造をしております。その中に緊急時といいますか、火災時、火災時の出火報を鳴らすためのサイレン信号が組み込まれておりますが、そのサイレン信号が今、佐戸議員のご指摘にありましたような小さい音が事前に、直前に流れるとサイレンシステムが起動するというものでございます。古いタイプの受信機ですと、それはただただ受け流して、それに引き続く音声告知も流れるんですけれども、一番新しい防災無線の受信機、黒いタイプの受信機の中の後期型なんです。製造年月日までは正確に、ちょっと今失念いたしましたのでお答えできないんですが、新しいものにつきましては、その最初の小さい信号音を雑音と、雑音といいますか、本来の放送でないものと感知するタイプの回路が組み込まれておまして、雑音が入っておると次の起動が正確にしないおそれがあるということで、システム全体がリセットします、受信機のです。受信機のリセットを行っておりますときに火点告知の放送が入ります。

ということで、最初のサイレン起動信号だけが聞こえて、新しい機械は音声告知が入らない、古い機械は音声告知が入るというものです。消防団員の皆さんには、その際にそういうことが起こるので、必ずメール登録をしてくださいと、消防団員のメール登録をしていただいたら地図も一緒に送れますというようなことを説明させていただいたように思います。現在こういう状況でございます。

○議長（泉 敏夫君） 7番、佐戸仁志君。

○7番（佐戸仁志君） ということは、新しい機械には防災無線の機能にエラーが出ると。古い機械でしたら、今までどおりしゃべるという理解でええんでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 今そのように言うていただきましたとおりでございます。

アナログシステムにつきましては、もうメーカーのほうも再開発ですとか機能アップの更新、そういったものはもう行われておりませんので、現在これを改修するというのが困難な状況でございます。

今後につきましては、サイレンの改修ですとか、そういったことも含めて総合的に今後の対策は講じていく必要があるなというふうには思っております。

○議長（泉 敏夫君） 4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） 47ページです。定住促進事業の山間部のお試し住宅なんですが、もう物件が決まっているかどうかということ。

それから、49ページ、総合計画策定事業、これはどのような方法で進められるのか。70万6,000円というのは非常に安いというふうに思います。

それから、49ページ、滞在型観光まちづくり事業です。9,000万というのは非常に高いとは思いますが、問題は、運営のノウハウを公開するという事になっているんですが、運営というのが極めて重要になってくると思います。今お聞きするとLLPというふうな話もあるんですが、当然どのような運営形態をとられるかというのをもう少し詳しくお聞きしたいです。

それと、99ページ、不法投棄対策事業。これはごみに加えて側溝の清掃ということも説明の中にあっただかと思うんですが、どこまでの側溝の清掃をされるのか。伊根町全域を回られているのか、ある一部のところの側溝の清掃ということを対象にされているのか。それと、今現在2名で回っておられるのが、それで十分に対応できるのかどうかということところです。

それと47ページ、地域公共交通確保維持費の分ですが、地域公共交通確保、それから生活交通路線維持費補助金という丹海バスのほうに多分補助金として出ている分だと思うんですが、昨年、私は一般質問の中でデマンドバスを検討したらどうかという話をしたんですが、近畿運輸局のほうとの調整をするとか、検討するという話があったんですが、そういった費用が、対策の検討費用というのがどこに含まれているのかということをお教えてください。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 松山議員のほうから企画観光課に係る質問もたくさんいただきました。まず私のほうからご質問にお答えしたいというふうに思います。

まず、定住促進に係ります山版のお試し住宅の物件というところですが、今一定所有者の了解をほぼ内諾が得られまして、あとは具体的実際に文書による取り交わしができつつあるところまで今いっております。なかなか実際に確認もしてきましたところ、今回整備費用に700万ということとたくさんの多額の経費を上げておりますが、ちょっと中を十分検証、私の目で見させていただきますと、ここまできからないかなというふうには考えております。改修のほうもなるべく安い費用で上げられるようにというふうには考えておりますが、現段階では、物件についてはほぼ目途がついたということでご理解いただければなというふうに思います。

それから次に、総合計画の策定についてです。70万6,000円を新たに計上させていただいております。

現在の第5次総合計画が平成31年度末が最終年度となっております。これがそろそろ終期を迎えるということで、今回の予算計上につきましては、次期計画策定の前段として住民アンケートをまずは実施させていただくための経費を計上ということでございます。特に現在自治体の総合計画につきましては、現時点では地方自治法が改正されたことから策定が義務づけはされておませんが、全国的にも、また京都府内でも総合計画、また名称は違うこともございますが、総合計画にかわる計画をほとんどの自治体が計画策定しております。

もちろん伊根町としてもやっぱり根本の、今でいう総合計画は必要だろうというふうに判断をしております。まずは、計画策定に当たるまでの前段としての住民アンケートの実施のための費用だけを上げております。よって、平成31年度には具体的動きをつくっていく必要はございますが、それまでに計画を立てる上では、一定伊根町としてのこれを策定するための根拠条例が必要となつてこようかと思っておりますので、またこれについて議員の皆様にご審議いただき、十分な検討をしていただき、総合計画の策定には進めていきたいというふうに考えております。

次には、滞在型体験観光まちづくり事業です。9,000万円という非常に高い予算計上をさせていただいております。

松山議員のほうからは運営ノウハウの公開をどのような形でと、大変重要なところだよというようなご指摘をいただきました。運営ノウハウもさることながら、例えば今回素泊まりの宿を予定し

ております。そこで、例えば帳場機能をどうするのか、リネン関係、それをどうやっていくのか。もちろん伊根町内でもやっておられる方はいらっしゃいますが、町がそれらノウハウ、そうした部分も含めて、経営も含めてノウハウを全て透明にして全て見せる、収支についても透明化していくということから、こうした事業をしたら、この程度の施設でこういう事業が展開できるんだという部分を住民の皆様幅広く知っていただいて、起業いただくためのきっかけづくり、その参考にさせていただければなというふうに考えております。特にもう今事業をされておる事業者の方もいらっしゃいますが、伊根町が今までやってきた、積み上げてきた成果を皆様方に広く周知することで、いろいろな法的条件のクリアについても教示させていただくことができるのではないかなというふうに考えておるところでございます。

最後に、公共交通の関係で丹海バスについてでございます。

議員の皆様方からも運転手、例えば丹海バスさんでもなかなか運転手の確保に苦慮されているというようなことを知っておられる方がほとんどだというふうに思いますが、確かに運転手確保、大変厳しいというふうに私どもも聞かせていただいております。

そうした中で、デマンドバスの検討ということも過去に一般質問に回答もさせていただいたところですが、丹海バスのような路線バス、診療所の高齢者の足の確保、観光客が宮津橋立からこちらに路線バスで来られた後の町なかでの足の確保について、たくさんの町内の移動手段については検討する必要があると考えております。

今回平成30年度については、予算上はそうしたそれを検討していくための予算は計上はされておりませんが、町長のほうからも所管課のほうで、また伊根町全体として交通体系全体を十分体制づくりを検討していくというふうに強い指示も受けておりますので、30年度にはそうした部分を総合的な検討を進めていって、なるべく早い段階で町内の移動する足の確保、総合的に効果的で効率的な足の確保に向けて取り組みを進めていきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） それでは、私のほうからは99ページの不法投棄対策事業についてお答えさせていただきます。

このきっかけは、美しいまちづくりというところが大きなきっかけで不法投棄、町内全域回っております。曜日指定でパトロール等を行っておりますので、雨の日でしたら側溝に落ち葉等が詰まっていると、どうしても側溝から水があふれるような状況があります。そういったときに側溝のほうをきれいにさせていただいております。災害の予防、防止も兼ねております。主には町の管理する道路、町道になりますが、どこまでいっても美しいまちに向けての取り組みでありますので、細かな線引きすることなく、パトロール中気づいたごみがあったら回収していただくようにしております。

この現行体制で十分か不十分かというところですが、30年度につきましては、週で0.5といえますか、隔週で1日多く出してもらうように検討しております。29年度では災害のときのごみの回収等もしていただいたこともあったり、今回のように雪が多く積もりますと、なかなか回収ができない。雪が解けた後非常に目につく、そういったこともありまして、なかなか思うような日程で進みませんが、現行週0.5といえますか、2週間で1日増やしたことでどこまで美しいまちとしていけるかを見極めて、また今後検討したいと考えております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） 本当になかなか苦しい答弁をありがとうございました。

もう一つだけちょっと伺いますけれども、監修に関する費用なんですけど、今日積算の内訳書というのをいただいたんですが、技師長と言われる方が6万4000円ですね、1日。技師Aとされる方が4万5,500円というふうな積算をされておるんですが、この対象となる方というのは何か国家資格等々を持っていらっしゃるのか。

それと、これだけの金額というのは、どこを、何を根拠にされて6万4000円というものが出されたかというのを教えてください。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 松山議員のご質問ですが、それぞれの単価につきましては、国の定める単価を基準として入れて算定させていただいております。

また、資格を持っているのかどうかというような部分につきましては、後ほど休憩を挟んだ後、再度勉強させていただいて答弁させていただきたいと思っております。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 予算書45ページの2款総務費の6目企画費の開発審議会費のほうで、非常勤の報酬と費用弁償のほうで7万5,000円上がっておりますけれども、これの審議されている内容とメンバー構成を教えてくださいませんか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 和田議員からのご質問、開発審議会に係る詳細説明をということでございますが、これにつきましては、発生した案件があったときに開催するという経費でございます。棚計上という形の予算計上でございます。

この対象につきましては、1ha以上の開発があった案件があれば開催をさせていただくというものでございます。

なお、委員構成でございますが、うちのほうの伊根町開発行為に関する要綱第27条のほうに、町議会の議員様が4名、町農業委員会の委員が4名、学識経験者5名という構成にはなっております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 2番、藤原正人君。

○2番（藤原正人君） 77ページの老人クラブ指導員設置事業補助金なんですけれども、私の地元の老人クラブも10年以上休会となっているわけなんですけれども、その中で指導員が設置されておるんですけれども、どんな方がその指導員となられておるのか。

それと、どこまでの指導をされるのか。例えばそういう休会されている老人クラブを復活さすというか、どこまでの指導が行われているのか、教えてくださいたいと思っております。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 老人クラブの指導員の設置事業でありますけれども、これにつきましては、伊根町の社会福祉協議会のほうに補助金として出しまして、社会福祉協議会の中で職員を充てて対応させていただいております。

単位老人クラブの活動の補助と連合会の事務的な仕事とあわせて、去年はそこが中心になりました。本庄上の地区でアンケート調査等もやっていただいております。そのような内容でございます。

○議長（泉 敏夫君） 4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） 49ページ、何度もすみません。滞在型観光まちづくり事業です。これの稼働率と、それから宿泊費はどれぐらいに設定されているかということだけちょっと教えてください。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 滞在型の施設の稼働率と料金設定はどうかというご質問でございます。

まず、現段階で想定をしております稼働率ですが、一番最初31年度からのスタートとなります。現段階のあくまでも想定というところですが、母屋のほうにつきましては稼働率20%、舟屋棟のほうについては25%程度で最初、低目だろうというふうに思いますが、低率で設定させて検討を進めたいというふうに考えております。起債償還等々を考慮しますと、母屋棟は40%、舟屋棟で50%程度が必要になるかというふうに思いますが、当初からなかなか高目の設定をしますというろんな不具合な点等も出てくるかもしれませんので、安全を見込んで稼働率少し低目で最初の想定をスタートさせていただきたいというふうに考えておまして、年度計画としては、年々少しずつ稼働率が上がっていく計画を想定したいなというふうに考えております。

それから、現段階での宿泊料金の設定でございますが、母屋棟と舟屋棟と一応分けたいというふうに思っております。それも両方とも素泊まりだけというふうに設定をしようと考えておりますが、素泊まりで、また母屋・舟屋棟も時期についても標準の時期、繁忙期、特定日というような形で設

けさせていただきたいというふうに考えています。具体的な料金につきましては、一番標準的な標準期の例えば土日が一番わかりやすいですかね。土日と休日前、土曜日、祝日の前の日で素泊まり、母屋棟で1人当たり1泊1万7,000円、それから舟屋のほうでは1人当たり3万2,000円程度の設定ができればというふうに現在検討を進めておるところでございます。なお、それが標準期でございますので、繁忙期、特定日につきましては、それぞれもう少しずつ上げていくというふうに考えております。

すみません。今例えばですが、舟屋で1人当たり3万2,000円と申し上げましたが、2名使用で1人当たり3万2,000円というふうに想定をしております、それが例えば最大、舟屋棟でしたら、6名が泊まれるような設計をしつつありますので、6名の場合でしたら、それが1人当たり1万6,000円、約半分で6万円になるというような料金設定でどうかというふうに今検討を進めているところです。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ございませんか。4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） すみません。その母屋の1万6,000円というのは、これはたくさん泊まっても1人1万6,000円ということでもよろしいんですか。

それと、舟屋のほうも6名泊まって1万幾らになってしまうと、ちょっと心配するのは、民間で今素泊まりのところをどんどんつくっていくか、あるいは5軒今度増えていくというふうな話の中で余り近い金額を設定されたらと思うんですが、このあたりというのはこの計画をしてくださったコンサルの方が全部設定された金額になるのか、伊根町との合意の中で、協議の中で決められたことなのか、その辺も含めてちょっとお答えをお願いします。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） まずは舟屋と母屋とどちらとも人数が、宿泊客が1棟貸しですので、多くなればどちらも金額が下がるというような設定を考えております。

これらの設定をどうして検討しているのかということですが、コンサルからもいろんな意見を聞きながらですが、伊根町として全国的にあるいろんな宿泊施設等の状況も確認をしながら設定、どれぐらいの事業費を使ったというような施設の状況も、現地には行ってございませんが、ネット等やら確認をする上で調整をした上で伊根町のほうで最終設定というふうに、現段階の想定ですが、伊根町のほうで設定していきたいと考えております。

○議長（泉 敏夫君） 4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） ということは、民業の圧迫にはならないという、そこが一番重要なことかと思うんです。我々議員研修で津和野に行ったときには、5,000万の改修費で、泊まるときは1人頭2万5,000円というふうな設定を多分されておりましたね。下が大理石とかありましたけれども。それから比べると若干安いのかなという気がするんですが、その辺も考慮されての話だと思うんですが、できるだけ5棟今度新たに建てていこうとする若い方がそういうことを始められるに当たって圧迫ができるだけないようにということを、稼働率も、ですからもっと落とすでもいいんじゃないかなというふうに思いますけれども、高くで。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 松山議員おっしゃいますとおり、今、伊根町のほうにも新たな宿泊施設がしたいんだけど、やっていきたいんだけどというご相談を今伺いつつあるところでございますので、そのあたり等は、民業圧迫のないように十分そのあたりはわきまえながら事業がうまくいくようにスキームを考えていきたいと考えております。ありがとうございます。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 先ほどの宿泊料金については、管理の方法によって多分金額も変わってきたり、稼働率についても目標は変わってくるというふうに考えるべきであろうというふうに思います。民間が指定管理者になれば、当然ながら収益を上げるために自分たちでそのあたりを考えて設定していくでしょうしというふうに思います。

選挙費についてお伺いしたいというふうに思います。ページのほうが61ページですか。

まず、4月早々に知事選挙、そして11月には我々の選挙、来年には府議会議員の選挙というふ

うに選挙が続く年でございます。直近の衆議院選挙、また府議補欠選挙において投票率の低下が、その前の選挙と比べてもちょっと下がってきているように見受けられます。このあたりについて、投票所まで行きたいんだけど、天候が悪かったりということもあろうかと思えます。ただ、なかなかお年寄りの方、寺領の方であれば野村の公民館ですか、そちらのほうまで歩いてなり車で行く形になりますよね。

そこでなんですが、投票率向上に向けて移動支援、移動投票所の取り組みなんかも検討はされているのかどうか。また、投票率向上に向けた他の取り組み、いつもと違う取り組みを何か考えておられるのかどうか、その辺についてお聞かせいただきたいと思えます。

○議長（泉 敏夫君） 総務課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいま選挙費でご質問いただきました投票率向上の取り組みでございます。

現在、この予算の中では従来と異なったものは計上してございません。移動支援に関しては投票所の統合等を以前にさせていただいた折から、地域の方々と相談の上で、投票所に向かうための投票日当日のバスの運行をさせていただきますというようなことでさせていただいた経過がございます。現在考えられておりますのはそのところでございます。また、京都府内の他の選挙管理委員会で行われておること、京都府外の選挙管理委員会で行われておることなど、例えば投票所の総合投票所だったでしょうか、ちょっと名前を失念して大変申しわけないんですが、本来であれば自分の住所のありますところを担当になります投票区で、そこに1カ所投票所がございまして、そのところで投票していただくというのが本来であります。期日前投票所のように、どこの投票区であろうと、そこへ行っていただくというような投票の方式をとることが法律上可能となっております。その場合、例えばターミナル駅でありますとか、大きなショッピングセンターでありますとか、そういったところと選挙管理委員会をオンラインでつないで投票人の方々の名簿、選挙人名簿が確認できる状態を実現した上で広げておられるところもあるように聞かせていただいております。

現在のところ、システムの導入ということがまだ本町ではできかねております。経費的にもかなりのものが要るだろうというふうには思っておりますので、1カ所でどこの投票区の方でもできるというようなところまでは、なかなか早々に取り組むということができないかなというふうには考えておるところでございます。

今ご指摘にありましたように、高齢の方などで、なかなか投票所まで足を運びにくいといった方の声も聞かせていただいております。そういった方々に何らかの支援ができないかということは、我々としても考えておるところでございますが、現在のところ、これといった名案が思い浮かんでいないという状況でございます。他の選挙管理委員会の事例等を十分検討させていただきたいと考えております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） ありがとうございます。島根県浜田市なんかでは移動期日前投票所の取り組みがされておりますし、また兵庫県の神河町なんかでもされております。こちら、地方選挙においては、平成28年度から特別地方交付税の措置もされておりますので、ぜひともそういったことも検討いただいて、本選挙における投票率向上に向けた取り組みを進めていただきたいというふうに思います。

続きまして、先ほども質問させていただきました47ページの業務委託のカートの実証実験でございます。

運転手不足ということを先ほど来ずっと言われておりますが、例えば鳥取県とか、そういったあたりでは無人バスなんかの運行も実証実験で始めておられます。そういったことも新たな取り組みの一つとして、京都府と共同でされるのであれば、検討課題の一つとして取り組んでいただきたいなというふうに思います。

続きまして、保育費の関係でございます。町長のご英断によって3歳以上無償化ということで保育料がなりました。

ただ、私、ちょっと懸念しておりますのが、平成30年2月16日付で保護者の皆さんへということ苦情相談の窓口のお知らせというものが配布されました。これについて保護者のほうから保

育料が無償になって非常にありがたいという声は聞いておるんですが、反面、こうした保育園の中で保育士による行き過ぎた保育指導があってということも聞いております。これについて、今年度無償化になって、財政的な面では非常に保護者負担は減りました。ただ、預ける気持ちとしては、やはりこうしたことがあると、預けていても不安になるということはあるかと思えます。

こうした行き過ぎた保育指導について何か本年度の予算で、例えば与謝野町にありますように監視カメラをつける、そういったことも必要になってくるのではないかなというふうに思います。それについて答弁のほうをお願いしたいと思えます。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） ただいまの行き過ぎた指導ということで質問なんですけれども、監視カメラ等については検討はまだされていませんけれども、風通しのいい職場で互いに注意し合える環境ということで講師のほうをお願いして、資質の向上に努めるように研修費のほうを上げさせていただいております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 風通しのいい職場ということでございますが、昨年度についても児童虐待についての研修を受けられていますよね。そうした中でもこういったことが起きたわけですよね。本当にそれでそういったことがクリアになるのか。この職員の方がどなたか私は存じませんが、実際にそれでなくなるという確信がとれるのかどうか非常に疑問に思うわけであります。

町長は就任以来、伊根町の子供は宝だというふうにおっしゃられております。ぜひともその辺について何らかの手だてが必要だと思っておりますが、いかがでしょう。

○議長（泉 敏夫君） 吉本町長。

○町長（吉本秀樹君） この保育所の件につきましては予算とは関係ありか。またこの問題については一般質問でもしていただいたら十分お伺いできるかなと思っております。

こういう事象が起きたことは大変つらい話でありまして、でも、それ、即監視カメラというのでは甚だ問題があるかなと。よい保育をするということと職員を監視するというは全く相反するものであろうかと思っております。でありますから、こういう事態が起きたことを大きく反省して、それを二度と起こさない方策をやはり職員一同、また役場の職員皆一緒になって考えるというのがまず先決であらうかと思っております。

とりわけ一番風通しがよくなかったのはPTAの方で、PTAですか、父兄の方でしょうね、子供さんを預けておられる方。どうも昔から子供を預けておるのに苦情を言うと、逆に子供をいじめられるのではないかという、そういう意識がずっとあったと思います。こういったところの払拭ですね。そうでありますから、苦情窓口をイの一番に保育所じゃなくてもいいと変えております。保育所の職員さんに言うんですから、その方がそうだったら具合が悪い。でありますから、当然役場の担当課であり、それから保健師たち皆さんがそういう苦情、それからお話を聞かせていただきますよ。

また、私なんか言っておるのは年間、毎月というわけじゃないですけども、年度替わりぐらいには皆さんやっぱりアンケートをとる。保育所の運営についてのいろんなアンケートをとる。そして、その後には自由欄を設けて皆さんのご意見を頂戴する、そういうことをずっと毎年毎年続けておれば、多分こういうことはなかったのではないかなと。やっぱり風通しが悪かったんじゃないかな、そういう意味合いでの課長が申しておりますように風通しをよくする、それが大事ではないかなと、そう思っております。

○議長（泉 敏夫君） 7番、佐戸仁志君。

○7番（佐戸仁志君） すみません。47ページの丹海バスの維持費補助金だと思っておりますが、1,334万6,000円。200円バスのことだと私は理解しているんですが、この200円バスの成果についてお聞きしたいのと、見えますと、中国系の観光客の方がたくさん利用されたり、自家用車をやめて通勤に使われておられる方もおられます。府立医大まで利用して、それからは徒歩で岩滝の中を歩かれているというような利用の仕方をされている方もございます。

この200円バスを永久的に続けるのか、それとも、もう何年か後にやめるのかというようなことがありましたらお聞かせ願いたいと思えます。



○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 丹海の路線バス、200円バスの状況についてでございますが、当初実証実験から入りまして、実証実験の期間、もともと当初は基準年の2倍にするまでということで目標にしておりましたが、なかなか2倍という設定が厳しかったということで、途中実証実験の期間も延長してきたところでございます。それで、ようやく昨年10月から本格実施ということで200円バスが運行されてきております。特に丹海バスの路線バスの中身につきましては、佐戸議員おっしゃいましたようにインバウンドの方々の乗車もたくさんおられます。また、地域の方々の乗車もふえておるんだろうなというふうに思っております。特に伊根地区の路線でいう伊根線、それから経ヶ岬線については、伊根までの乗車率についてはたくさんいい評価を丹海からもいただいております。基準年のほぼ2倍に近い数値まで伊根に関連する路線についてはいっているところが実態でございます。他の路線に増して伊根地域の状況は良好な状況であると言えるというふうに考えております。

それから、200円バスの今後についてでございますが、もう200円バスとなった以上、現段階でなかなかもとに戻るといえることはないだろうなというふうに考えております。今後も乗って残すという部分を十分に住民の皆様方にもPRさせていただいて、皆様方への極力乗車いただけるよう広報等をさせていただきまして、また状況も十分お伝えしながら乗車のご協力をお願いしたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 社会福祉費から予算書75ページ、障害者地域生活支援事業についてお伺いします。

こちらのほうは市町村が地域に応じて柔軟に使える事業ということでご説明のほうを受けておりますけれども、20節の中で日常生活用具給付費というのが171万2,000円というふうについておりますけれども、大体主にどういったものを支給してでの積算根拠なのか教えていただけますか。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 障害者地域生活支援事業の日常生活用具の給付費でありますけれども、これにつきましては、障害者が利用しております電動車椅子の修繕費が主なものでなっております。利用実績より積算しております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 総務費から民生費のあたりで、今回備品購入費で、教育の関係も含めてですけれども、備品購入でAEDの購入が各部署で計上されております。

これについてなんですけれども、耐用年数が過ぎたという説明をいただいておりますけれども、一括して発注されるのか、それとも各部門ごとで発注されるのか。普通で考えれば一括発注いただければ、少しぐらいは下がるのかなというふうに思うんですが、その辺についていかがでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 個数をまとめて一括で見積もりをいただいて、極力安価で入るようになりたいと考えております。そのように協議しております。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ございませんか。質疑がないようであります。これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） ありがとうございます。異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

これより10分間休憩いたします。再開を11時からとしておりますので、よろしく願いいたします。休憩いたします。

休憩 10時48分

再開 10時58分

○議長（泉 敏夫君） それでは、そろわれましたので再開をいたします。

まず最初に、答弁保留の分を上山課長のほうより申し出がありましたので、上山課長よろしくお

願います。上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 先ほど失礼いたしました。

松山議員のほうからご質問をいただいております部分、保留とさせていただいておりますので、まずそちらのほうから答弁をさせていただきたいというふうに思います。

まず、その監修業務を行う者が資格を持っているのかどうかというところでございますが、伊根町では1級建築士またインテリアコーディネーターなど、そういった一定の資格を持った者が実際に行うということで基準を満たしているものという判断をさせていただいておりますので、30年度についてもそういった観点で業務を進めていきたいというふうに考えております。

また、30年度の業務委託費300万円の部分でございますが、その300万円の範囲内で業務委託できるように設計を組んでいきたいというふうに考えております。伊根町でそれだけの業務を行うには必要であろうとする日数、工数を設計書に上げて入札にかけていきたいというふうに考えておりますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） はい、ありがとうございました。

次に、5款労働費から8款土木費を対象としての質疑を行いたいと思います。8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 111ページの有害鳥獣対策事業ということで、猿の生育状況調査及び個体数調整、捕獲の実施ということの事業があるんですけども、本庄地区にも設置された猿の檻が稼働されていないということで、今年度は稼働するのかということと、また新たに捕獲するところの場所等がわかれば教えていただきたい。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 個体数調整のご質問でございます。

まず、現在のところ、伊根D群を対象に泊のほうで少し規模の小さい捕獲檻で捕獲を目指しております。

あと残るのが伊根のB群なんですけど、現在のところ、B群だけ発信機が装着できていない状況であります。まずはこれをつけないことには本庄地区での捕獲もしくは今本庄地区にある大型檻を、またB群が一番多く集まるであろうところに設置することがなかなかできていないというのが実情でございます。今のところ本庄地区の檻については、まだすぐに稼働というわけにはいきませんが、まずはB群の発信機装着、これが一番急務となっております状況でございます。現在、個体数調整につきましては、宮津A群がほぼあと二、三頭で完了ということで、今回は50頭の目標だったのが、実際には何頭生息しておるのかというのを業務委託により確認をしたいと考えておまして、個体数調整の本格的な捕獲は伊根D群をまずは中心に行っていく予定としております。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） すみません。同じところの質問なんですけれども、有害対策事業のところ伊根町野生鳥獣被害対策実施隊員92万円で予算計上されておりますけれども、現在、何名の方が今登録していらっしゃるのかということと、16節の被害防止材、18号で被災したところで4,772m分、被災して倒壊したところの被害防止材を支給ということでお聞きしておるんですけども、ここの主な場所というか箇所がわかれば、あわせてお示してください。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） まず、実施隊の人数でございますが、30年度につきましては現在募集しております。これについては、毎年公募をして猟友会員のほうから募集をして実施していただける方を登録しておりますので、29年度につきましては、ちょっと詳細の数は把握しておりませんが約10名程度で、職員についても任命しておりますので、地域整備課の職員を約5名毎年任命しておりますので、総勢15人前後の体制となる見込みでございますが、30年度につきましてはまだ今公募中でございますので確定がしてございません。

それから、侵入防止柵2段、台風災害での復旧と、また新たに防止柵を設置する2段構えで行っております。台風災害については4団地あるという説明を行いました。主なものは、やはり本庄上、野尻、それから本坂、このあたりがやっぱり河川の氾濫による被害ということで多い場所となっております。

○議長（泉 敏夫君） 2番、藤原正人君。

○2番（藤原正人君） ただいまのことに関連してですけれども、今のところは被害がこれと聞いていないんですけれども、鹿が大変増えてきているということをお聞きしておるんですけれども、今年あたりまた出てくるのかな、どうかと思っております。

その中で、被害防止材の檻ですけれども、今現在はイノシシ用の檻の導入のみとなっておりますけれども、今後、鹿が増えてくるということもありまして、多分柵も変えていかなあかんのではないかなということも思われます。

それとまた先日、猿追いの研修会の中で5年で大体また倍に増えるという統計ができるのをお聞きしたんですけれども、先ほどもありましたけれども、一昨年、猿の大型捕獲檻を設置されて、今現在開けっ放しでそのままになって、何年かこれからも先、管理をしていかなあかんと思うんですけれども、特許的なもので猿専用ということで、それが特許的なものをとっておるのでどうなのかと思うんですけれども、例えば、地元でというか町内で勝手にというか、鹿も捕獲できるような檻に改造できるのであれば、そういうことが可能なのか。せつかく200万ですか、230万だかかけて設置してあるので、何かそういう、もう少し有効活用ができるような方法がとれたらなど、耐用年数もまた決まっておるもので、そういうことができたらなどと思っておりますけれども、どうでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 鹿対策についてでございます。

今、本庄上にある檻につきましては、あれ、上からしか入れない地獄檻というものでございまして、鹿を入れようとするので飛び越えて入れないと思うので、門扉とか改修が必要となりますので、なかなか有効活用は難しいかなと考えております。それよりは、鹿対策として新たに鹿を捕獲する檻、これを増やすほうが有効ではないかなと考えております。

また、侵入防止の柵等につきましても、機能アップということでイノシシ対策から少し段数を増やすとか、いろいろ機能アップもあると思いますので、そのあたりは団地の方と相談して、鹿対策に向けても進めていきたいと考えております。

○議長（泉 敏夫君） 2番、藤原正人君。

○2番（藤原正人君） 今も申しましたけれども、改造するのは可能なんですか。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） すみません、まだ検討しておりませんので、可能かどうか、一度ちょっと専門家に確認はしたいと思いますが、今のところ、改造は難しいのかなという個人的な感想です。実際に一度当たってみて確認はしたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 111ページの鳥獣被害防止対策補助金ですけれども、こちら説明の中では宮津A群のカウント調査と猿の専門家による住民指導及び猿調査に係るICT技術実証実験ということでお伺いしております。

具体的なICTの実証実験の中身をご教示願います。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） すみません、言葉足らずだったと思います。

ICT実証実験につきましては、ほかの先進的なところで猿専門の研究所みたいなところが持っておるソフト、これを活用しまして、今でしたらホームページをご覧いただきましたらわかるように、猿の行動範囲はこうですよ、エクセルとかPDFだけでお示ししておりますが、これを地図上でクリックするといろいろな情報が出るような、もっといろいろなことに活用できるような多方面の情報がたくさんアップできるようなフォーマットをちょっと1回実証的にやってみたいと考えております。

その内容につきましては、ただいまソフトを持っておられる、そういう有害鳥獣の専門会社にちょっと依頼をしまして、対策協議会のほうでそういうソフトをつくりましてホームページにまたアップしていきたいという内容でございまして、具体的にどんな内容かというのは、今ではまだ確定しておりませんので言えませんが、情報量を増やした地図上のお示しできる内容としたいという

程度でございますが、そこにいろいろな情報を載せていきたいなと考えております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） いわゆるマッピングというやつをされていくような感じですね。

ICTの関係でいうと、農水省のほうでも鳥獣害を減らす取り組みのためにドローンを夜間に飛ばして鹿やイノシシは夜間に行動しますので、それに基づいて檻を設置していく、生息域を特定して設置していったら、ある程度の効果も出ているようでございます。そういったことを踏まえて、おりの設置場所については検討のほうもいただきたいなというふうに思います。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） ドローンの夜間発進、私、存じ上げておりませんでした。いろいろと情報収集しまして、また参考にさせていただきたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 113ページの太鼓山風力発電所管理事業ということで、今年度は民間に事業を委託するというような説明を前回受けたと思うんですが、その業者は決まったのかということと、あと風力発電所の管理業務ということで、町内の方数名がその戸を開け閉めに行ったりとか、いろいろちょっとされておると思うんですが、民間に委託された場合、そういったものはどうなるのか、ちょっとお聞きしたいです。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 太鼓山風力発電施設につきましては、まだヒアリングが明日ございます。今月中に有識者の意見を聞いて、京都府、伊根町、筒川財産区で、3社の企業から1社に絞って4月から企画書のことについて締結をしまして、1年かけてFIT認定とか、そういう実際に運用していくための電気を売る単価を早目に決めていただいて、33年度ないし34年度に新たに企業が行えるような段取りをしていくという予定でございます。

その中には、地元貢献というような提案資料もございます。3社ともいろいろと日々の管理を地元の人をお願いするとか、地元の企業をお願いするとかいう提案がございますが、企業が決まっておりますので、具体的な地元の管理についてまだ確定がしていないという状況でございます。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 121ページ、福祉センター管理運営費の中で工事請負費、福祉センターの裏側の車庫の解体と、また後ほど教育委員会のほうでもありますように、教育委員会の倉庫の解体というふうにお伺いしております。

解体後については跡地利用、これについて決まっておるのかどうかということと、あともう一点が123ページの日本で最も美しい村事業、こちらコンサートを開催されるとお伺いしました。コンサートの開催時期と開催場所、そういった内容等がどのようなものを検討されているのかあたりを説明いただきたいと思います。

また、125ページに景観形成事業ということで、業務委託、サイン、照明、これについての計画をというふうに上げられております。こちら、研修のほうが昨年ありまして、私もその場に受講というか参加して内容を聞いておりました。この照明計画の中で、その下には工事請負費で寄附の関係で役場玄関に照明つきのサインをつけるということもお伺いしております。その照明計画に基づいた、まだできていないですけども照明計画を策定される段階で役場玄関の照明ができるわけですね。策定前にできるわけだと思んですけども、その整合といいますか、そういったあたり検討されているかどうかお聞かせいただきたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 濱野議員から3点ご質問を受けました。

まず1つは、福祉センター横でございます車庫の解体、工事請負費を予算計上させていただきました。その跡地利用ということでございますが、現在も町のほうで管理をしておりますので、駐車場として区画をきちっとお示しをして駐車場利用とさせていただいておりますので、まだまだ利用のご要望もございますので、そちらのほうの駐車場としての利用をというふうにご検討しております。

これは、また教育委員会のほうの、後からも出てきますが、解体もございますので、そちらのほうも十分調整をしながら、全体的には駐車場利用として考えていきたいというふうにご検討しております。

す。有料駐車場として利用したいと考えております。

それから、日本で最も美しい村に係りますコンサートの件でございますが、現時点ではまだ時期等については具体的なところの詰めができておりませんが、出やすい時期にというふうには考えております。また、日美全体としては、日本全国で数カ所でこのコンサートをやっていくということで、コンセプトとしては野外でということをおっしゃってありますが、なかなか野外となりますと雨、天候のこともございますので、そちらのほうについてはひょっとしたらこちらのほっと館ということもあるかもしれませんが、今後、場所についても日美の事務局とも調整をつけながら検討をこれから進めていきたいというふうには考えております。

もう一点、景観形成、それからサイン、景観形成事業の中のサイン計画、照明計画と、特に照明計画と、今度、予算上では役場の玄関の駐車場入り口というサインの関係ですが、1年間かかって照明計画のほうは検討を進めていきますので、どうしても伊根町役場の玄関に立てるサインのほうが多くなります。計画ができ上がる前となりますので、最終的な計画策定の計画ができ上がったものと実際に駐車場入り口のサインとが整合性がとれるかというとなかなか厳しいかもしれませんが、十分、照明づくりの検討をしていく、その状況も踏まえながら、できる限りそれに沿った形で設置ができればというふうには考えておりますが、完全に整合ができるかと言われると、なかなか厳しいものがあるかもしれません。

以上でございます。

○議長（泉 敏夫君） 5番、山根朝子君。

○5番（山根朝子君） 121ページの広域観光のところですけども、一番最後に、世界で最も美しい湾クラブですけども、4万5,000円でこれは会費か何かかなと思うんですけども、美しい村連合のほうは何かいろんな活動もされているとわかるんですが、湾クラブのほうはどういうふうなことをされていて、伊根町にどういうメリットというか、そういうものがあるのかというのをちょっとお示しいただきたいのと、あと、すみません、127ページの観光総務管理費の13業務委託のところ、ちょっと私の聞き間違いかもしれませんが、ゴールデンウィークとか夏休みに伊根小のグラウンドを駐車場にして活用すると。警備員さんもつけるというふうにあったと思うんですけども、これは、この期間というのは、でも放課後児童クラブの子供たちは伊根小のグラウンドもちょっと活用というか、使っているんじゃないかなと思うのと、それと、駐車場にするんだったら駐車料金というのも発生すると思うんですけども、警備員さんが駐車料金をいただくようなことになるのか、ちょっとそこら辺を教えてください。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 山根議員から2点について質問をいただきました。

まず、広域観光の部分で湾クラブ4万5,000円の予算計上でございますが、湾クラブについては、宮津湾、伊根湾と一緒に世界で最も美しい湾クラブに参画をしております。

これにつきましては、宮津市と伊根湾とともにということ強い宮津市からのアプローチもいただきまして、伊根町も加盟するということで今加盟させていただきまして、この4万5,000円につきましては、世界レベル、世界組織への上納金といった形の経費になってございまして、具体的には、伊根町としては実際の事業展開は伊根町のほうではできていないところが実態でございます。

宮津市さんでは、一部独自の事業もされているということをお伺いしておりますが、伊根町としては直接的にはなかなか湾クラブとしての事業は行えていないということです。

ただ、世界的、全国的な湾クラブに加盟することによって、一定、宮津湾、伊根湾ということでチラシ、パンフレット等には掲載されておりますので、一定のその部分でのPRはできているのかなというふうに考えているところでございます。

それから、もう一点、ゴールデンウィーク中に伊根小学校のグラウンドを駐車場にということ予算計上させていただいております。こちらにつきましては、一定、教育委員会とも連携をとりながら計画を進めてまいりました。実際には、交通整理員、誘導員を置きますのと別に、料金徴収は別に臨時でアルバイトの方を公募させていただいてというふうには考えております。

ただ、放課後児童クラブは大丈夫かというご質問がございましたので、こちらについては所管課

と十分に協議を進めながら安全を第一に考えていながら運営をと思っております。

最後に、料金のことですが、正規にはなかなか取りづらうございますので、協力金といった形で現段階では1台終日300円程度を協力金としていただきたいという形で事業展開を考えていきたいと考えております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 先ほどの関連で、小学校のグラウンドをゴールデンウィーク中というふうに説明いただきました。

ゴールデンウィーク、2回に分かれると思うんですけども、28から5月6日までされるのか、そうではなくて、5月3日から6日までされるのか、積算に当たって、恐らくその日程も決めておられると思います。その辺お伺いしたいのと、あと去年は鳥屋地区については実証実験という形で警備員を配置された形があったと思うんですが、そういったこともこの費用に含まれるのか、今年については、それについてはされないという理解でいいのか、その辺の説明を求めます。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） ゴールデンウィーク中の日程でございますが、現段階で予算上はトータル7日間ということで今設定を考えております。交通誘導員については、今回、予算計上上、5名ということで予算計上させていただきましたので、一定、鳥屋への配慮もできるのではないかなというふうに考えております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 関連質問ですけども、先ほどゴールデンウィーク時に伊根小学校の駐車場を終日300円なんですか。それだったら、大西にとめる方が1日とめた場合、2,000円超えてなると思うんですけども、その整合性が何かとれんような気がするんですが、何かそこへゴールデンウィーク中にちょっとその駐車場がすぐにいっぱいになって、料金所のほうが、とめる方の人との何かそんなふうな気がするんですが、その辺いかがですか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 現段階では、終日300円というふうに考えておりますが、朝、例えば9時にするのか10時にするのか、開門、開場時間とそれから閉門時間を5時にするのか、4時がいいのか、そのあたりは有料の駐車場、伊根町への駐車場の状況も勘案しながら、今後、詳細を詰めていきたいというふうに考えておりますが、夜間についてはもちろん出ていただくという対応を考えております。

○議長（泉 敏夫君） 7番、佐戸仁志君。

○7番（佐戸仁志君） 119ページの漁港海岸保全施設整備事業ですが、本年度も1億円を超える予算をつけていただきまして順調に進むものと思っておりますが、去年あたりから水深の浅いところを進むようになりまして、工事がぐっと進んできたように思うんですが、今後の見通し、今のペースでいくとどのぐらいで日出湾、小坪湾までが完成するのか、少しお聞きしたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 海岸保全事業の進捗計画でございます。

海岸保全事業につきましては、現在のところ、西平田地区の終わりまでを実際の詳細計画によって計画的に行うということにしております。

当初の計画時点では、これが、ちょっと詳細あれですけども、32年度ぐらいまでの5カ年計画の中でもかめ、もしくはもう少し先の集会所の駐車場、西平田区の駐車場、あのあたりまでを区域決定しておりますので、それ以降については、まだ詳細調査もできておりません。したがって、日出までとなるとさらに延長が長くなりますので、これ、大分10年ほど前の計画でも伊根全体で何年かかるんだというご質問をいただきましたが、調査をしておりませんし、また国の予算のつき具合でもわかりませんので、総事業費も出ておりませんが、相当の年数がかかるという回答しかできません。

平田地区につきましては、ここ3年ないし4年の間で完了させたいという計画にしておるとい

状況でございます。

○議長（泉 敏夫君） 2番、藤原正人君。

○2番（藤原正人君） 123ページの海水浴場清掃・入込調査業務なんですけれども、昔私たち、小さいころは大変海水浴客も多かったわけなんですけれども、近年になって減ってきています。

入込調査するのはどういう方法でやられているのか、また、近年海水浴客の動向はどんなふうになっているのか教えていただきたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 海水浴場清掃・入込調査業務についてですが、町内の方に委託をさせていただきまして、泊海水浴場、本庄浜海水浴場、それぞれ清掃業務、入込調査を行っていたいております。

調査の内容につきましては、具体的に日報のようなものを出していただいております、それで日々のおおよその海水浴客のカウントを伊根町のほうに提出をいただいておりますと調査を行っているところでございます。

動向につきましては、こここのところ、近年はずっと、大分以前には相当客も多うございましたが、ここ数年はずっと横ばい程度の状況が続いているものというふうに認識をしております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 予算書113ページの林業費のところの2目の林道費のところなんですけれども、林道管理事業のほうで約120万弱の増で19路線の2万8,262mということでお聞きしております。

そのご説明の中で福之内の新たに林道とする道路新設のところ、豊かな森を育てる交付税の活用という説明を聞いていますけれども、これは道路新設のときのみが、この豊かな森を育てる、こちらのほうの交付税の対象となるのかをちょっとお聞かせ願いたいんですが。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 豊かな森を育てる府民税市町村交付金でございます。京都府の森林環境保全への配分で、毎年伊根町には定額として195万円いただいております。これの利用につきましては、林業の推進、もしくは林道の改良ということで維持管理には使用できませんので、今回、福之内から林道の亀山線といいまして太鼓山につながる林道ですが、この区間が150m程度つながっておりませんでしたので、この事業を活用して、完了するまではこの交付金を充てて開通させたいということで毎年200万円程度の工事を実施しております。

この後につきましては、林道の改良工事、予定箇所ございませんので、あとは林業振興のほうでまた何かといろいろ活用していきたいと考えておりますが、あと、今年と来年ぐらいまでは林道開設で使用していきたいと考えております。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 関連でお伺いします。

この事業は今年度で完成予定ですか。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 今申し上げましたように、もう1年ないし2年、舗装まで考えておりますので、少なくとも31から32ぐらいにまではかかるかなと考えております。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ございませんか。1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 予算書117ページの水産業費、漁協管理事業のほうで、今年は海づくりが当町で開催されると、伊根漁協周辺の大浦周辺で開催されるというふうにお聞きしております。日が決まっていたら、時期を教えてくださいのと、それとそのときをきっかけに周辺の美化清掃をするということで30万円の予算計上をされていますけれども、これもこの辺の周辺の清掃をどれぐらいでやる予定をされておられるのかをお示してください。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） まず、海づくり大会につきましては、4月に入りましてから実行委員会が開催されまして、第1回では決定しませんので、第2回ぐらいですので、大体5月ぐらい

にこのあたりでという日程が決まるのかなと思っております。これについては、開催町の意向も十分聞いていただいて日程が調整されるものと考えております。

また、それに関連しての清掃補助金でございます。これにつきましては、今のところ、漁協伊根支所周辺を考えておりますので、あのあたり一帯の清掃、きれいにしたいと考えております。実際の程度できれいになるのかわかりませんが、伊根町からはこの額しか出さないよと、最高でもこの額だよということで、しかしながら、実際の周辺はきれいにしてくださいということでお願いしていきたいと考えております。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） ありがとうございます。非常に観光客も多く、伊根町の中心地でもありますので、できれば早目に清掃していただいてきれいにした状態を今後も保っていただけるように、ご指導願えればと思います。

それと、同じページで業務委託として120万円計上していただきまして、本庄浜の河口の浚渫を上げていただいているのと、それと、その下の工事請負費の中で箇所を説明いただいているんですけども、1つちょっと教えていただきたいんですが、本庄浜、本庄浦漁協の泊地浚渫というふうにお聞きしているんです。ここは実際どこの場所になるのか、ちょっと教えていただけますか。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 業務委託については、議員発言のとおり河口の浚渫ということで、機械を借りて単価契約ですぐに地元のしていただきたいときに、掛かれるように年間の単価契約で競争で1社に指定して回数分お願いするというようにしております。

工事請負費につきましては、泊地浚渫ということで、現在、漁船が防波堤の内側に泊まっております。その港内の浚渫のほうは工事請負で実施をする予定としております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 121ページ、商工観光業振興対策事業補助金ということで、事業実施をしやすいように、新規雇用がなくてもオーケーですよといったことや、商工会への報告については毎年の報告はなくても大丈夫ですよということで、使いやすい補助金にされたという説明があったと思います。

設備投資型の上限300万のほうでございますけれども、こちらのほうについては、小規模事業者については商工会への年度ごとの報告は不要、中小企業等については毎年の報告が必要と、こう分けてあるわけですね。それについてなぜ分けたのか、分ける必要があったのか、その辺について説明をお願いします。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 濱野議員ご質問の設備投資型にはまだ規制緩和というんですか、基準の緩和がなぜなかったのかというご質問でございますが、今までから伊根町のほうにご要望いただいております小規模、特にほんまに家で行うような小規模事業者からはなかなかハードルが高いというようなことがございましたので、その部分をまずは考慮して、今回、制度設計を行いました。

中小企業という部分についても、伊根町もそんなに多くはございませんので、その要件については、一定、今までどおりの基準を残させていただいたという理由でございます。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 中小企業等についても、基本的に書類は新たに一からつくらないといけないんですね、こういった計画並びに実績報告についても。であれば、分ける必要がどこにあるのかなと。逆に、事業創生型については分けずに、報告は不要ですよということをされていますよね。その辺について再検討なりしていただければいいのかなと。

ただ、1つ気になっておりますのが、地域おこし協力隊の昨年度何回も議案で上程されましたけれども、ああいったことがなければいいんですが、ある可能性もあるのであれば、やっぱり商工会なり、そういったところへの1年に1回ぐらいの報告は必要なのかなというふうに思うんですが、その辺いかがでしょうか。



○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） この補助金につきましては、一定、商工会とも十分協議をさせていただきながら、最終的に要項の改正のほうを踏み切ったところでございます。

また、地域おこし協力隊についても、今ご発言をいただきました。今回、4月1日からの、この新たな補助金の適用ということで進めさせていただきますが、今日ご発言いただきました内容も踏まえ、また、確かに事業が展開していく上では、商工会の助言なども、アドバイス等もいただくことが必要かというふうに思いますので、そのあたりも再度、今後とも商工会とも連携をとりながら、十分、制度設計について、また見直しの是非についても今後また検討していきたいというふうに考えます。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 133ページ、町営住宅管理事業でございます。

こちらについてでございますけれども、新たに大原団地が4月から供用開始になって、その方々が地域コミュニティーにもご参加いただけるように、応募があった際には口添えをしていただいているというような説明を以前いただきました。

ぜひ、募集要項の中に、神戸市なんかでは地域コミュニティーの参加を条件という要項を入れておられます。ぜひ伊根町でも地域コミュニティーへの積極的な参加というものを条件項目に入れていただいて、そういった住宅がある地域では草刈り等も範囲も広くございますので、ぜひそういった要件のほうも入れていただきたいなと思います。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 実際に他の自治体でもあるということでございますので、前向きに検討してまいりたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 予算書121ページの観光費の誘客対策事業についてお伺いします。

この事業に関しましては、これまで調査をしていなかった時期の4月から6月に関して調査動向を行うというご説明を聞いております。

13節の業務委託のところで42万円計上されている中で、これはアンケートのまとめをするというふうにお聞きしておるんですけれども、この辺のアンケート内容というか、その辺どこまで踏み込んだ形での調査をする予定をしておるのか、もしわかればお聞きしたいんですが。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 誘客対策事業に係る業務委託の部分でございます。

どこまで踏み込んだ内容のご質問でございますが、実はそんなに大きく踏み込んだところまではアンケートをとってはございません。今回、その場で聞き取りしても、なかなか回答がいただけないということで、今実施を行っておりますのは観光案内所等で、例えば舟屋の里ですとか、丹海の遊覧船、日出駅あたりでアンケート用紙を配布させていただいて、それに返信用封筒をつけさせていただいて、伊根町へ来たばかりの方もいらっしゃいますので、伊根町を回っていただいて、一旦お帰りになってからしっかりと伊根町の内容を吟味して書いていただくというような動向調査を今行っております。

返ってきております内容については、その場ではなかなか自由意見欄等の記述がしにくうございますが、やっぱりじっくり一旦自宅へ帰ってからアンケートを書いていただくということで、結構細かな自由記述の意見などもございますので、そのあたり今後の参考にさせていただきながら福知山公立大学の取りまとめ結果、一緒に取りまとめをするんですが、一緒にその結果を見ながら今後の観光振興につなげていきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 今ご説明していただいたのはインバウンドというか、外国人観光客に対しても同様の調査を行うということでよろしいですか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） ただいま申し上げました部分については、あくまで国内の方だけでいかせてもらっています。

インバウンドが増えてきておりますので、こちらのほうにつきましては、観光協会の観光案内所への来客人数等々を今までから国内、国外に分けた調査もいただいておりますので、それで来ていただいた国籍を確認しておる程度の内容でございます。

外国については以上です。

○議長（泉 敏夫君） 7番、佐戸仁志君。

○7番（佐戸仁志君） 121ページの誘客対策事業なんですけど、伊根花火補助金として伊根町は商工会に200万円を出されております。

一般質問でも言わせていただきましたが、駐車場が平田地区にないということもありまして、現在、伊根町役場周辺の駐車場、それから定時制のグラウンドでしたかを駐車場にして平田まで花火見学の方が歩いていくような状況になっております。

前も言いましたけれども、夜遅くまで人が家の周りを歩くということが、物すごく私は気色悪く思いまして、できれば伊根町もお金を出すんですし、もちろん口も出されると思います。役場駐車場あたりから平田まで伊根のバスを利用して、シャトルバスとして極力人が夜遅くまで家の周りを歩いたりしないようにしていただきたいと思うんですが、その辺はどうでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） 伊根花火200万円に係る質問でございますが、あくまでも伊根町としては、伊根花火実行委員会のほうに200万円の補助を出していただいております。

口も出すんだらうというお話ですが、こういった議会ですとか、それから伊根町へ直接あったご意見等は伊根町の役場でまとめて実行委員会で反映ができるように一定話はさせていただいております。

今回、佐戸議員からご提案がありました内容につきましては、今までから実行委員会の中で議論があるところですので、今後こうしたご意見を頂戴しておるといことは実行委員会の中で話をさせていただいて、皆さんで、実行委員会全体で議論を進めていき、よりよい伊根花火になるよう、より皆様方に喜んでいただけるような花火大会にできればなというふうに考えております。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） 4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） 131ページの道路除雪事業に関してなんですけれども、町道はもちろんのことだと思うんですけれども、各公民館などの除雪等々というのはどのようになっているのかちょっとお聞きしたいんですが。例えば、筒川文化センターのところは玄関の奥まで除雪がなされていなくて、先日ボランティアのほうの立ち上げを行おうということで、たくさんの方が研修で来られたんですが、急遽、区長さんが自分の除雪機を使って玄関のところまで除雪したという話があるんですが、その辺をどこまで文化センターあるいは公民館という扱いにされているかというのをちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） すみません。まず町道について説明させていただきます。

伊根町道として除雪しますのは町道それから一部林道、もしくは道路に付随するところということで、そこをまずは中心的に除雪をしております。それが終わった後にいろいろな観光施設なり、各公共施設などは、そちらのほうの依頼があって行くということで、最優先は道路ということになっておりますので、それ以降のここもしてほしいと言われても、年度当初にある程度要望を聞いておかないと、急には対応できないというのが実情でございます。

小中学校等公共施設については、各施設で毎年教育委員会さんとかも除雪会議とかに同席していただいて、お願いしていただいて、そうなら道路の後に一緒にやりましょうというような話もできておりますので、今回、筒川文化センターについては、当初から予定が入っておりませんので、急遽何かイベントがあるということで、そのために除雪をしたのかなと思っております。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 同じく、道路除雪事業についての質問をさせていただきます。

今年、結構、積雪量が多かったのも、いろいろと苦情等もあったと思いますけれども、非常に業者の方々には朝早くから除雪をしていただいて感謝しておるところでございます。

雪が多かったのもなかなか除雪も時間がかかって、そのために苦情が出たということではあるんですけども、一部には路線の見直しをという要望の声等も上がっています。

現在、町有除雪車としては6台で業者を含めて全部で15台で作業していただいておりますけれども、今回、道路除雪事業での予算を組むに当たって、先ほど松山議員のほうからご説明ありましたが、路線の見直し等もちょっと視野に入れた形での予算編成をされたのかどうか、この辺をちょっとお聞きしたいんですけども。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 具体的な路線見直しにつきましては、11月に策定見込みとしております。その間いろいろな、今議会でもいろいろなご意見いただきまして、反映できるものは反映したり、改善していきたいと思っておりますので、見直しについては今からであります。

この予算計上につきましては、例年、通常の年の委託料として、平均である約700万円を計上させていただきましたので、そのあたりの見直しを込みにしたような予算組みではございません。計画自体はこれから策定ということで。

あと1点変わりますのが、本庄宇治から蒲入までの旧道が4月ぐらいには引き渡しがされる見込みというふうに直近で聞いておりますので、そこが、これからは本庄宇治の交差点から長延までが伊根町で区間が増えるということで、これらにも対応して、当然路線計画の見直しはしていきたいと考えております。

また、一般質問のほうで藤原議員のほうからもありますので、余り重複する箇所は避けたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 予算書123ページの商工費の観光関連施設管理運営費の中で15節の工事請負費で15万円計上されています。ご説明で町内の不要看板撤去費というふうにお聞きしているんですけども、こちらのほうは、どれが不要看板なのかというのをある程度把握しておられて、そこに撤去していただくとすれば、撤去してくださいよという事前通告等をして、ある程度予告をしておいて、それである何件ぐらいでこれぐらいの規模になるかという積算根拠をされたのかというところと、次のページの125ページの景観形成事業の中の16番の補助金の中に景観整備支援事業補助金というの50万円についておるんですけども、これと、今言った工事請負費の違いをちょっと教えていただきたいんですけども。用途の違いを。

○議長（泉 敏夫君） 上山課長。

○企画観光課長（上山富夫君） まず、123ページのほうの観光関連施設管理運営費で工事請負費15万があります。これは公、伊根町のほうが設置をしたものを処分する経費というふうなことでございます。

また、景観形成事業のほうで、125ページの景観形成事業の中の補助金で50万円あります。こちらのほうについては、民間企業様等が廃止、改修するための伊根町からの補助金という内容でございます。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質問ありませんか。7番、佐戸仁志君。

○7番（佐戸仁志君） 105ページの住宅改修助成事業ですが、商工会から議員の一般質問でも延期を求めたものですが、3年間延期していただけたということをお聞きいたしました。

今年度1,000万円の予算がついていますが、伊根町戸数900軒程度あると思うんですけども、何軒ぐらい利用されているのか教えていただきたいと思っております。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 29年度の現時点での利用者戸数でございますが、316世帯がご使用になっております。約3分の1の利用率という状況でございます。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質問ありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思っておりますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

これで午前中の部を終了したいと思います。午後は13時から再開したいと思いますので、ひとつよろしく願いいたします。休憩いたします。

休憩 11時54分

再開 12時59分

○議長（泉 敏夫君） それでは再開いたします。休憩前に引き続き会議を開きます。

最初に、9款消防費から14款予備費を対象としての質疑を行います。8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 消防施設等管理費ということで、137ページなんですけれども、第2分団第3部の消防車庫を移設、新築されるということで、移設される場所の土地を購入して、そこに建てるのかということと、あと2階を設けてそこを消防団員の方が会議したり、今あるようなそういう整備をされると思うんですけれども、テレビについては多分2階の詰め所にもテレビがいると思うんです。それについて、今、光になっておるんで結構な金額がかかると思うんですけれども、その部分に関してもこの予算に含まれておるんですか。

○議長（泉 敏夫君） 鍵総務課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいま第2分団第3部の車庫についてのご質問をいただきました。

現在想定しております用地につきましては、現在蒲入地区の集会所が建っております付近に町有地がございます、そのところで用地は確保したいというふうに考えております。購入費は今回は計上してございません。

それと、場所が蒲入集会所の隣ということでして、現在例えば年末警戒でありますとか、そういったときに車だけ入れておきます車庫と団員さんが詰められる場合は集会所をお借りしてやっておられるという、こういうような状況から、一応今のところの計画では車庫機能に多少の装備品類を収納できるような収納をつけたものを想定しております。テレビ等については、ちょっと今のところは検討はしておりません。

○議長（泉 敏夫君） 7番、佐戸仁志君。

○7番（佐戸仁志君） 関連なんですけど、1,230万円、車庫だけにしてはえらい高いような気がいたします、感覚的にですが。木造で建てられるのか、頑丈な鉄骨にされるのか、少し値段が違うような気がするんですけど、どうなんでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 鍵総務課長。

○総務課長（鍵 良平君） 工事請負費の1,230万円の内訳でございます。私、恐らく説明のときに等というような言い方ではっきりと申し上げておりませんでしたんでなんですけれども、今のところ積算内訳としましては、1,080万円が車庫の建築用の経費でございます。残りにつきましては、現在本庄上地区にあります消火栓を2基改築を計画しております、この合算したものが1,230万円になってございます。建物の規模なんですけれども、今のところいわゆる建坪が12坪程度、おおむね40㎡の面積で、鉄筋コンクリート造で検討しております。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ございますか。4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） 147ページ、学校運営管理費等々に関してなんですけれども、この運営管理費の中で草刈り作業、ここが53万4,000円、それから151ページがもう少し安いんですかね。それぞれ草刈りのお金が違うと思うんですけれども、これ面積等々で割ってらっしゃるのか、何を根拠にされているのか教えてください。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 草刈り業務につきましては、シルバー人材センターのほうに委託をいたしております。面積によってシルバーのほうから見積もりをいただいたところで積算をしております。

○議長（泉 敏夫君） 4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） ちなみに㎡幾らですか。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） ㎡ではなく、労務単価というような形で、1時間1,050円というような、そのような単価でそれに労務の人数を掛けまして、そのあと諸経費等々がございます。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 同じ140ページの学校管理運営費のところ、小学校の普通教室への空調設備設置とトイレの洋式化に取り組み、学習環境、生活環境の改善を図るという事業があるわけですが、空調設備について尋ねたいんですが、これは夏場だけを利用する冷房器具なのか、冬場も利用する冷暖房器具をされるのか、ちょっとお聞きしたいです。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 冷暖房関係を予定しております。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） そしたら、冬場はストーブは使用しない。そのままその冷暖房器具を使用するということでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 次長。

○教育次長（梅崎 良君） 併用を考えておりまして、中学校の場合もペレットストーブというのも使って、併用で暖房には当たっておりますので、小学校につきましてもそのようなことを考えております。

○議長（泉 敏夫君） 7番、佐戸仁志君。

○7番（佐戸仁志君） 今の上辻議員との関連質問なんですが、本庄小学校、伊根小学校に空調機器を取りつけるということで、かなりの電気の容量が必要になると思われます。そこで私ちょっとあれなんですが、現在3月15日を期限に伊根小学校の高圧設備の改修工事の見積もりが届いております。施工が3月30日中に施工しなさいというようなことが書いてあります。きっとこれ夏休みにやる空調工事だと思うんですが、あと四、五カ月の間でもしかしたら今回高圧受電設備を取りかえても、再度取りかえなあかんようなことが起きるんじゃないかというように思うんですが、その辺はどうでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 今回のキュービクル関係、高圧の関係の取りかえですけれども、2小学校のほうで停電等が発生をいたしまして、その関係で今回機器の更新をしたいというふうに考えております。今、議員おっしゃられましたように30年度に工事を、エアコンを取りつけるというようなところで、高圧の取りかえが必要になるかもわかりませんが、現状が停電等が起こって支障が起こるといふところから、二重になるかもわかりませんが、現状の状況を確保したいといふところから、今回取りかえの工事の発注をお願いしたものでございます。

○議長（泉 敏夫君） 7番、佐戸仁志君。

○7番（佐戸仁志君） お金のことを言うのはあれなんですが、定価ベースで100万円を超えるぐらいの工事になるんじゃないかなと私は思うんですが、例えば、この予算が上がってくるということは、空調のほうの基本設計ができていと思うんですが、せめて、今回の取りかえに変圧器の余力を持ってやるようなことを考えてはどうかなと思うんですが、その辺はどうでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 今回計上させていただいております予算につきましては、基本設計等についてはまだできておりません。今年度設計費のほうも予算計上をさせていただいております。今回は、事務局のほうで一応試算をした金額を計上させていただいているところでございます。

それから、すみません、高圧の機器の関係ですけれども、現状を踏まえまして、設計委託、基本設計を作成していく中で設計業者のほうにはその旨をお伝えして、十分な高圧施設、電気の余力ができるような、そのように考えております。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 学校の就学援助費のことについてご質問させていただきます。

151ページの小学校のところと、中学校費の就学援助費のほうがそれぞれ5万1,000円と4万円ということで上がっておるんですけれども、就学援助そのものは準要保護者に対する援助でございまして、平成17年より各市町村が単独実施というような要綱の流れで来ていると思います。対象品目も我がまちでは無償としている部分は除いてさまざまあるんですけれども、毎回この積算

根拠のときは、大体就学援助される方が何人ぐらいいらっしゃるかというような予測に基づいて、それに対して何費を補助というような形で積算根拠をなされているのかということをごちゃごちゃとお伺いしたいんですが。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 就学援助を行います、まず支給明細ですけれども、科目ですけれども、予算計上いたしておりますのはPTA会費、新入学用品、それからクラブ活動費、この3点でございます。単価につきましては、国が定めております金額を参考にしております。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） 今、ご説明いただいたPTA会費とか新入学用品であるとかクラブ活動費というのは、国が定めておるといよりか、かかっている満額ではなくて、幾らなのかちょっとわからないですけれども、今おっしゃった3品目には国としてこの金額で補助しないさいということで定められたとおりの金額という認識でよろしいですか。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 新入学用品につきましては、国の定めた基準を使っておりますけれども、PTA会費につきましては、各学校で支払われておりますPTA会費分の予算を計上しております。それから、クラブ活動費につきましても国が定めた基準を使用しております。

ただし、実費というふうなことで、それを満額支払うのではなくて、クラブ活動費ですと、例えばテニスのラケットを購入します、その領収書をいただきます、それが仮に1万円といたしますとその1万円を支払うというふうなことで満額支給というふうなことにはなっておりません。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 145ページ、給食費等無償化事業の修学旅行補助金なんですけれども、昨年度予算に比べ60万円程度減額となっております。児童生徒数が減ったことなのか、そのあたりを説明願います。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 就学援助費の修学旅行費の件ですけれども、議員おっしゃられましたように生徒数の減少でございます。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 泊数の変更とかではなく、ただ単に児童生徒数の変更ということではなかったでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 修学旅行の泊数につきましては変更なく、小学校ですと2泊3日、中学校ですと3泊4日、それを継続していくことでございます。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） かねてより議会のほうで言うておりました国会見学も今年から入れていただいたようですので、非常に感謝しているところでございます。

空調設備の件につきましては、夏休みの間に実施するというので、夏休み明けから児童の皆さんが利用できる環境になるという理解でよろしいでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 今年度、予算を計上させていただいております。できましたら夏休みまでに完了して少しでも使用ができればいいかなというふうには思っておりますけれども、そのような形で取り組みたいとは思っておりますけれども、状況によっては夏休みの工事というふうなことにもなるかというふうと考えております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） ありがとうございます。ぜひ夏休み前でも、7月1日ぐらいから猛暑になりますので、ぜひともご検討いただきたいというふうに思います。

スクールバス運行費、149ページでございますが、こちら予算計上されているのは、従前のままということで、乗り合いバスではなく従前の小学校へ行くためのバスで運行された予算計上がされていると思います。これについて、相乗り形式に変わった場合、どのぐらいの予算規模にな

るかお示しいただきたいと思ひます。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 今回の朝妻号につきましては、伊根バスとの混乗というふうなことでありまして、今回計上させていただいております朝妻号に係る分につきましては、この中から朝妻地区の子供さんの定期、それから回数券等を購入する費用に充当させていただきたいというふうに考えております。それが大体合わせまして40万円程度というふうなことになります。当然不用額が出てまいりますので、その部分については時期を見計らって減額というふうな処理をしたいというふうに考えております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） かなりの額が下がるんだなというふうに、ちょっとびっくりしているところがございます。混乗ということで、コミュニティバスのほうがのろせ海岸を通って新井のほうへ向かって行くということで説明を受けております。のろせ海岸、冬季の間、今シーズン積雪の関係で通れなかったケースもあったかと思うんですが、そのあたりはあくまで積雪があろうがなかろうが関係なく、どんなに雪が降ってもやっぱりのろせ海岸を通るといふ形なのか、のろせ海岸傾斜地のほうが崩れたりといった事故もありましたので、その辺をお示しいただきたいのと、あと147ページの草刈り業務、こちらのほうで伊根小学校の雑木伐採というふうに説明もされたと思ひます。先ほどの説明のほうではなかったんですけども、伐採箇所を具体的にお示しいただきたいというふうに思ひます。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 伊根バスののろせ海岸の通行につきましては、伊根町の公共交通会議の中で伊根バスに混乗というふうなところでお話が決定したように聞いております。それに伴いまして、交通機関というようなところから除雪については行っていただけるというふうなことを聞いておりますので、その除雪については対応はしていただけるのかなというふうに思ひておりますけれども、ただ、今年みたいにどか雪の場合は、そのあたりどうなるのかちょっと予測はつきませんけれども、通年の運行というふうなことで聞いております。

あと伊根小学校の伐採なんですけれども、伊根小学校を正面に見ていただきまして、右手の学校の教員が車をとめております、そこから体育館まで、右手の山手の部分であります。その部分についての伐採を行いたいというふうに考えております。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） どか雪という説明をされましたけれども、どか雪が降った場合には夕方の帰りの便については帰れないケースもあろうかと思ひます。保護者の負担にならないような安全な確保をお願いしたいと思ひます。

伐採の関係でございますが、そちらの場所についてはもう日ごろからよく石が落ちてきて、崩れるというところまではいかないんでしょうが、安全面は大丈夫だという説明をいただいておりますが、崩れている箇所でございます。今後その場所について、草刈りをするによってそういった対処計画をされる予定で伐採されるのか、その辺はいかがでしょう。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 現在ネットが張ってあるわけですが、その部分を突き出して樹木が大きくなってきておりますので、その部分を教育委員のほうでは伐採をして、枝の伸びを抑えようというふうなところでありまして、崖からの土砂、石なんかの落石については、また別のことを考えておりますので、その伐採をすることによってその傾斜部分の土砂部分も一緒に解消といひますか、改修というふうなことは考えておりません。

○議長（泉 敏夫君） 7番、佐戸仁志君。

○7番（佐戸仁志君） 135ページの常備消防組合負担金なんですけど、6,812万7,000円、ごみのほうの環境組合なんかは人口割ということで、この間も工事費の増額を何とか安く切り抜けたようなあれがありますが、常備消防の近隣市町等の負担割合はどういうふうになっておるのかお聞かせ願ひたいと思ひます。

○議長（泉 敏夫君） 鍵総務課長。

○総務課長（鍵 良平君） ルールとして定めたものがございますので、ちょっとお時間をいただきまして、すぐに調べてまいります。

均等割10%と人口割が90%になっております。この人口割のほうは国勢調査人口を基準に定めております。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 163ページの社会体育施設管理運営費ということで、今年は旧朝妻小学校の体育館の屋根を雨漏りがするというので、防水のほうをやり直すというふうに説明があったと思うんですが、筒川文化センターも以前そういった工事をするに当たって、屋根を設置したように思うんですが、そのようにしなかったのはなぜでしょう。そっちのほうは僕は長持ちするのではないかなというふうに考えられますが、どうでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 旧朝妻小学校の体育館の防水シートの改修なんですけれども、ここにつきましては、雨漏りは特にしていないというふうなところでございます。台風によりまして防水シートがめくれ上がりましたので、現在はブルーシートで応急処置をしておりますので、共済金を使いまして原状復旧をするという、そういう工事内容であります。

筒川文化センターの体育館につきましては、雨漏りがひどかったというところでも現在のような屋根をつけたという工事をしましたけれども、朝妻小学校の体育館につきましては、そのような状況ではございませんので、原状復旧という形で対応したいというふうなところでございます。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） ということは、その部分だけをやりかえるのに730万の費用がかかるわけですか。全部を張りかえるわけですか。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 今回、共済金を使ってでございますので、原状復旧というふうなことになります。現在、防水シートがめくれいておりますのは、屋根部分の半分がめくれ上がっておりますので、その部分を修理するというので、現在予算計上しております730万ですけれども、このうち600万が防水シートの原状復旧工事費の部分の予算でございます。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ございませんか。6番、大谷功君。

○6番（大谷 功君） 140、141ページの1項教育総務費の事務局費で、定時制高校伊根分校組合の14万7,000円ですが、これは分校組合が実情休止ということになっておりまして、折しも高校の再編問題もありますので休止になっておりまして、どういう決算の状況になっておるのか、1回議員としても見ておくべきかなというふうに思うんですが、そこらは1回、今じゃなくてもよろしいんで、今会期中にでも議員に見せていただければと思うんですが、いかがでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 28年度決算でよろしければ、この議会会期中にお示しはさせていただきますと思います。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ございませんか。質疑がないようであります。これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

### ◎ 日程第3 議案第12号

○議長（泉 敏夫君） 日程第3、議案第12号 平成30年度伊根町国民健康保険特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。

なお、質疑は、慣例により国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出予算を一区切り、伊根町診療所勘定歳入歳出予算及び本庄診療所勘定歳入歳出予算を一区切り、合計2区切りとして行いますので、よろしくお願ひします。

それでは、初めに国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出予算を対象として質疑を行います。質疑ございませんか。質疑がないようであります。これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議



ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(泉 敏夫君) 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、伊根診療所勘定歳入歳出予算及び本庄診療所勘定歳入歳出予算を対象として質疑を行います。8番、上辻亨君。

○8番(上辻 亨君) 本庄診療所勘定のほうで、227ページ、看護師体制の見直しをされたということで、看護師を1名増員するというふうに伺ったんですが、伊根より本庄のほうが忙しいで、そういうのをされたのか、その理由をちょっとお聞かせお願いしたいです。

○議長(泉 敏夫君) 石野課長。

○住民生活課長(石野 靖君) 2つの診療所で看護師の体制を29年度から30年度にかけて変更させていただきました。伊根診療所では29年度が正職2名、本庄診療所が正職1名、臨時1名でした。それが30年度は伊根診療所で正職2名、臨時1名、本庄診療所は正職2名、トータルで4名だったのが5名になった、正職1名増えての5名になったということで、どちらかという伊根診療所側での臨時が増員になったというような予算になっております。

以上です。

○議長(泉 敏夫君) 3番、濱野茂樹君。

○3番(濱野茂樹君) 看護師の件で、以前にも議会でも申させていただきましたけれども、看護師さんの年齢層が伊根町の場合高い状態であって、今後ちょっと懸念していた経過もあります。今回1人新しく入られて平均年齢的にはどのぐらいまで下がるのかなというふうに思っています、その辺もしおわかりであればお示しいただきたいなと思います。

○議長(泉 敏夫君) 石野課長。

○住民生活課長(石野 靖君) 結果、広く公募はさせていただいたんですが、臨時職員で来ていただいていた方の応募だったような格好でして、平均年齢が下がるような採用には至っていません。

以上です。

○議長(泉 敏夫君) ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(泉 敏夫君) 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

#### ◎ 日程第4 議案第13号

○議長(泉 敏夫君) 日程第4、議案第13号 平成30年度伊根町簡易水道特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はございませんか。7番、佐戸仁志君。

○7番(佐戸仁志君) 245ページの工事請負費2,500万円の内訳をちょっと教えていただきたいと思います。

○議長(泉 敏夫君) 白須課長。

○地域整備課長(白須 剛君) 2,500万円の工事請負費の内訳ということでございます。今、地域整備課にあります簡易水道の遠隔監視システムの更新の工事請負費1件でございます。

○議長(泉 敏夫君) ほかにご質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(泉 敏夫君) 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

#### ◎ 日程第5 議案第14号

○議長(泉 敏夫君) 日程第5、議案第14号 平成30年度伊根町下水道事業特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はございませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第6 議案第15号

○議長（泉 敏夫君） 日程第6、議案第15号 平成30年度伊根町財産区特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑がないようでありましたが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第7 議案第16号

○議長（泉 敏夫君） 日程第7、議案第16号 平成30年度伊根町介護保険特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑ございませんか。質疑がないようでありましたが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第8 議案第17号

○議長（泉 敏夫君） 日程第8、議案第17号 平成30年度伊根町訪問看護事業特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） 職員に関することを伺いたいんですが、この予算の中で何名の方がこの訪問看護に携わっていらっしゃるのか。それで町民さんからの満足度といいますか、そういった調査もなされているかどうかというのを。

○議長（泉 敏夫君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） まず、職員体制です。看護師が3名、理学療法士が29年度は週3日だったものを30年度は週4日とさせていただいています。あとは、レセプト等がありますので、事務職員が0.5といいますか週2.5日の勤務で職員体制は以上のようなのです。

満足度と言われますと、アンケートをとっての満足度ということはしておりませんが、介護認定を受けられた方の利用ですとか、リハビリ的なことを受けられる方であったり、病院等から自宅のほうへ帰って来られた方によって、訪問の日数も週1回の方から週5回の方とさまざまありますが、特段家族の方からの苦情としては聞いておりません。

以上です。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質問はございませんか。質疑がないようでありましたが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第9 議案第18号

○議長（泉 敏夫君） 日程第9、議案第18号 平成30年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はございませんか。質疑がないようでありましたが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

以上で、平成30年度伊根町一般会計予算及び7特別会計予算の全ての質疑が終わりました。全てを通じて何か質疑がありましたらこれを受けることにします。4番、松山義宗君。

○4番（松山義宗君） 131ページの除雪についてちょっと伺いたいんですが、この予算の中に、除雪会議というのが雪の前にあるかと思うんですけども、その予算も入っていますかということと、それに出席されるメンバーが何名なのかということまでちょっとお伺いしたいと思います。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 議員のご質問ですけれども、まず除雪会議には予算は執行は一切ありません。除雪会議といいますのは、国府道の京都府が主催する除雪会議と伊根町が町道の関係で開催する除雪会議とあります。伊根町の場合の除雪会議につきましては、各オペレーター先の会社、それから伊根町の担当課、そして副町長、理事者ですね、また学校等もお願いがあるということで学校関係者というメンバーで開催をしております。

京都府につきましては、各関係市町、それから警察、電力会社、電話会社、それから丹海さんとか交通関係、そういうところが一堂に会して行うものと、また午前の部と後半の部と分かれています、片方では業者宛てということで京都府のほうで2回の開催がございます。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 先ほどの111ページの有害鳥獣対策ということで、ちょっと聞き漏らしたんですけれども、新井崎の檻が台風等で壊れておるといふうにちょっと聞いたものですが、あれは新しいものを建設する予定とかはないんでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 新井崎の檻につきましては、積雪によりまして倒壊して撤去ということで処理しております。これにつきましては、会計検査も受検済みで、やむなしということで了承いただきました。それにかわるものとして、泊に少し小型の大型捕獲檻を設置したのがその代替としての新たに設置した檻ということで、現在伊根町が管理しておりますのは、本庄上と泊の2カ所ということになっております。

○議長（泉 敏夫君） 8番、上辻亨君。

○8番（上辻 亨君） 新井崎区のほうからは、また設置をしてほしいような要望はなかったんですか。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 新井崎に設置しておりました個体数調整の対象の群れが宮津A群でございます。午前中にも申し上げましたように、ほぼあと二、三頭の捕獲で目標達成ということで、普通の捕獲檻で猟友会さんが設置するようなもので獲れるだろうということで、そこはもう新たに設置しないということで、ご了解もいただいております。

○議長（泉 敏夫君） 7番、佐戸仁志君。

○7番（佐戸仁志君） 39ページの庁舎管理費なんですけど、11番の修繕費で20万円の年間の修繕費が見てあるんですけど、この庁舎も十四、五年たちますか、かなり外部とかの板とかを塗り直さなくてはならないような状態になっているのではないかと思います。以前、一般質問でも言いましたが、庁舎の一番顔である玄関の車寄せ、錆びもよう目立ちますし、壊れているような気がいたしますが、それを直すような予定はないんでしょうか。

○議長（泉 敏夫君） 増井会計管理者。

○会計管理者（増井和彦君） 佐戸議員の質問に対してお答えをいたします。

この20万につきましては、30年度につきましては、29年のときも発生をしたんですが、エアコンの使用時期前に非常に故障が多いということから、エアコンの緊急対応としての修繕料を上げております。今、佐戸議員から申されました事項につきましては、また今後検討させていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

○議長（泉 敏夫君） 3番、濱野茂樹君。

○3番（濱野茂樹君） 167ページの給与費明細書の総括表の件でちょっとお伺いしておきたいと思っております。時間外勤務手当のほうが今年度511万増えたということで、これについては選挙費に係るものがほとんどであるというような説明を受けたかと思っております。現在伊根町では確か出勤簿とか超過勤務命令簿、こういったものを紙ベースでされておると思うんですが、近隣でいうと福知山市のほうで30年度から勤務管理システムを導入されます。また、与謝野町ではタイムカードなんかにも既に導入されておりますけれども、伊根町について、そういったものを入れることによって職員1人当たり月0.5時間の時間外勤務が減少した事例なんかもございます。また、リアルタイムで把握できることから、マネジメント力の向上につながるほか、職員の健康管理もしやすくなると思うんですが、これについて検討されているところがありましたらお聞かせ願えますか。

○議長（泉 敏夫君） 鍵総務課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいま時間外勤務手当の管理方法についてのご質問をいただきました。議員もご承知のとおり、勤怠管理システムを導入しております、時間外勤務につきましては、システム管理で事前の登録、事前決裁、勤務終了後の事後に実際の勤務時間を入力するというところで管理しております。また、同じくご質問の中で指摘のありました出勤簿につきましては紙で現在管理しております。何年か前にタイムカードにつきましては導入の必要性について事務レベルで少し検討をしたことがございますんですが、たしかに近隣で導入されておられるところがあるということもございまして、それについては一定程度有効性が見られるということもあるようでございます。また一方で、これはモラルの問題といえますか、押してからまた仕事を続けるというような事例も発生しかねんということもあるように聞かせていただいております。そのあたりのところはさらにまた厳重に管理をしていかなければならないということもございまして、一定内部で検討はしたんですけども、導入には至っていないという状況でございます。現在のところ、それらの導入を新たにということはまだ考えられておりません。

○議長（泉 敏夫君） 1番、和田義清君。

○1番（和田義清君） すみません、1点ちょっと聞き漏らしたのでお願いしたいんですけども、予算書131ページの町道管理事業のところなんですけれども、13節の業務委託としてご説明では5年に1回のトンネル点検というふうにお聞きしております。このトンネル点検というのは、町内にあるトンネル2つ分なのか1つ分なのかというのが1点と、15節の工事請負額の中に、ご説明の中で橋の長寿命化工事というのがございましたけれども、こちらも筒川の朴丸とか野村地区の災害復旧の橋梁なのか、それとも町内にある何件かの橋梁の長寿命化が含まれているのかということをお聞きしたいんですけども。

○議長（泉 敏夫君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 道路維持管理の業務委託と工事請負費の内訳の関係です。

まず、業務委託のトンネル点検につきましては、津母のトンネルでございます。伊根町管理の町道のトンネルはあれ1件だけでございます。5年に1回の道路法により点検の義務づけがあることから、5年目の1回をまず行うというものでございます。

それから、あと橋梁長寿命化工事でございますが、前回の全協の説明でも申し上げましたように、国の予算のつき具合によって改修箇所が変わってきますので、その予算のつき具合を見て実施する箇所を検討したいと思っておりますので、今どこということは決定はしておりません。

○議長（泉 敏夫君） ほかにご質疑ございませんか。質疑がないようですが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（泉 敏夫君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

## ◎ 散 会

○議長（泉 敏夫君） 以上で、本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

なお、16日の本会議については休会としたいと思います。

最終日、3月23日午前9時30分から開催しますので、冒頭一般質問からよろしく願いいたします。

本日はどうもご苦労さまでございました。

散会 13時51分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

伊根町議会議長

署 名 議 員

署 名 議 員